

人に向つて、鬱憤を漏さんとするのみ。

佛國移住民の感化

此他、獨逸國民に混入したる幾多人種の内、最も重要視すべきは佛國人種なり。佛國人は、一たび十八世紀の初期に於て、宗教上の迫害に遭ひ、再び同世紀の末期に於て、革命の禍亂を避け、多數の群をなして、獨逸に移住したりき。此の如き人種混同の結果は、獨逸人の性格に大なる影響を及ぼし、其の美術的知覺及び技能を鋭敏ならしめ、チュートン人種の遲緩にして籌量的なる性情に加味するに、活潑にして好事的なる分子を以てしたり。以上二個の性質、即ち用意周到なる性質と、劃策豊富なる性質との結合は、最も有望なる企業家を作る所以にして、用意周到なる性質を欠けば、散漫放恣となり、劃策豊富なる性質を欠けば、因循估息、遂に最も安全なる場合に於てすら、進取の功を收むる能はざるに至る。

市場開拓の好手段

保守主義は、獨逸人の品格中、最も著るしき性癖なりと稱せらる。此の性癖は今尙ほ、彼等の社會的、政治的生活に於て、多くの痕跡を留むと雖も、實業的方面に於ては、既に大なる變化を來したること、甚だ明白なり。英國の評論家は既に此の事實を看取し、其の由つて來る所、概して工藝教育及び商業教育にありとなす。彼等以為らく、保守主義の弊に陥れるは、寧ろ英國の實業家なり、今にして速やかに時勢の變遷に應ずることを勉めずんば、世界の市場は遂に獨逸人の代りて占むる所たるべしと。駐外領事の本國に送致する報告も、屢々同趣意の警告を繰返し、獨逸人が其の製品及び取引方法を、顧客の習慣に適合せしむることにより、英國商人を驅逐する實例を列擧する頗る頻繁なり。試みに其の二三を摘録すれば左の如きものあり。

一、伯刺西爾國民は黒色を嫌惡すること最も甚だしく、英國製の縫針が黒紙を以て包まるゝを喜ばず。此の事實、一朝獨逸人の看取する所となるや、彼等は品質劣等なる製品を、光澤ある赤紙に包み、以て華客の歡心を迎へ、遂に全市場を占有するに至れり。

一、トリニダットの人民は、扁平にして幅廣き足を有するに拘はらず、英國の製靴業者は、何等の頓著なく、英國形のものを入力しつゝありき。彼等の不便推想するに難からず。されば獨逸人が恰適のものを輸入し來るや、英國人は忽ちにして、多年の華客を失ひたり。

一、露西亞婦人が頭部を覆へる赤ハンカチーフは、從來ランカンシャイアーの製品にして、需用者の好む所は、方形のものなるも、製造者の供給する所は長方形のものなりき。此に於て獨逸人の試みに方形の品を輸入するものありしに、華客争ふて之を求め、又英國品を顧みるものなきに至れり。

英人にして競争者を有せざりし間は、需要國民の言語を知らずとも、

多少の工夫を以て其の嗜好に應ずることを勉めずとも、尙能く其の製品を賣り得たり。而も一旦、獨逸商人の來るありて、自在に購買者の言語を操り、而して其の齎らす所の貨物たる、實質は英國品に及ばざるも、外見殆ど之に劣らず、且つ價格甚だ低廉なれば、自ら華客を誘致し吸收せざるを得ざる也。

獨逸製品の劣等なることは、既に一般に喧傳せられたる所にして、而も重大なる誤解を招きたる點なきにあらず。獨逸商人が英人よりも廉價なる貨物を提供し得る理由の一が、廉價なる原料を用ゐ、製造の手間を省き、品質の劣等を顧慮せざるにあるは、固より事實に相違なし。而も此の如く、品質を損減するは、購買者の要求に應せんが爲めにして、英國の製品、高尙は即ち高尙なりと雖も、其の價格の不廉なるを厭ふもの尠なからざる也。元來貧にして收入少なき五十年前

の獨逸人は、其の必要な物品を購ふに際し、嚴密なる節儉を行はざるを得ざりしが故に、廉價なる獨逸製品を最初に歡迎したるは國內市場なりし事、疑ふべからず。次で獨逸人が、此の廉價なる製品を提げて外國市場に赴くや、直ちに多大の需要を喚起したり。然るに一方に於て、英國人なるものは、漫然此の如き機會を看過し、高尚なる最上等品に對する、少數の需要に應ずることを以て足れりとせり。兩者の爲す所を比較し來れば、獨逸人は其の製品を以て、外國市場を競争者の手より奪取したりと云ふよりも、寧ろ新たに其の市場を開拓したりと云ふを當れりとす。然りと雖も、獨逸人が、市場の需要に適合する品質の製品を供給するの途を知れりと云ふ事實は、必ずしも、上等品を製出する能はずとの意味を含むものにあらず。「ブリチッシュ、ミュージアム」の如き

は、英國に於て爲し能はざる最上の印刷を、特に獨逸の印刷局に注文するにあらずや。富の程度上進すれば、獨逸人も亦上等品を購ふが故に、製造業者も從つて此の需要に應ずべき也。

英國人の保守と獨逸人の勇進

某論者の喝破したるが如く、英國の製造

家及び商人は、近年に至るまで、全く一種の氣儘者なりき。彼等の過去は餘りに安樂にして、永き間の獨占的成功は、曾つて此の隆盛を來したる勇往邁進の氣力を消磨したり。彼等が其の製品及び方法の卓越せる事を自信するや、既に久しきに亘り、事情の遷移を覺知すると難し。英國の工業及び商業は、恰も鉛版の如くに固著し變通の力を失へり。之に反して獨逸の製造家及び商人は、巧みに華客の必要に應ずることによりて、始めて其の進路を開き地歩を占め得たり。而して幸にも、古風若くは舊法の以て煩累を及ぼすものなく、秩序あり

脈絡ある途によりて、其の製産業を發達せしめ、其の製産品を販賣せり。彼等は世間の需要する所、果して何物なるかを考究し、恰適のものを提供するの面倒を厭はず、將來有望なるべき華客の言語及び商習慣を習得し、競争者の爲す所を知らんが爲め、自ら海外に渡航し、若くは青年子弟を派出し、一旦之を知れば、其の長所強所を採擇するに躊躇せざる也。

獨逸商人の外國に關する智識

獨逸商人の多くは外國語の智識に富み、

啻に華客の國語を自在に使用するのみならず、又克く競争者たる英、佛の實業新聞をも通讀す。獨逸青年子弟の國語を習得せんが爲め、英國に赴くもの甚だ多し。彼等は佛語及び獨逸語に通ずるの故を以て、難なく英國の會社工場に雇傭せられ、斯くて英人の方法及び華客に關し、知得する所多し。而して此の如き練習生は、自國に歸るにし

ても、海外に赴くにしても、自ら商業を營むに當り、英人に對する競争に於て、此の智識を利用すること甚だ大なり。曾つて倫敦商業會議所が、外國人を使用しつゝあるや否やに關し、英國の諸會社工場に問合せたることありしが、回答者の四割五分は、外國人を使用する事實を告げ、且つ其の理由として、英人の子弟は、概して充分なる外國語の素養を有せるが故に、外國人特に獨逸人を雇傭するの止むを得ざることを説明せり。

英國人の性質と獨逸人の性質との最大相違は、前者が常に、何物にても、英國的ならざるものを輕蔑するの傾向を有し、之に反して後者が、常に外國のものを過重し、若くは正當に評價するの傾向を有する事なり。獨逸人は實に、自己に對して、最も酷なる批評者なり。

多年の間、獨逸の國情を視察したる、伯林駐在の米國總領事フラン

ク、メイソン氏の報告に云へるあり。

『獨逸が外國より輸入したる新方法及び機械を最も良く利用するに、巧妙且つ敢爲なりしが如く、世界の市場に於て、此の如き競争者と出會せざるを得ざる國民は、専門教育の完備せること、外國人民の嗜好に投合して製品を賣込む術の巧妙なること、外國貿易の擴張及び維持に關する勤務の程度高きこと等に關し、獨逸人の方法に倣ふの必要を感ずるならん。』

又曰く、

『近頃米國に來遊したる、英國著名の某技術家は、米國工場の主任者及び上級職工が、科學的智識に乏しく、而して業主なるものも亦、機械に關する最新最良の完備に無頓著なるを看取したり。米國業主の無頓著なるは、英國及び獨逸に對して、勞力を節約すべき新機械の供給を業とする米國人の立證する所にして、彼等の實見する事實によれば、金屬工業に従事する外國の進取的工場は、米國發明の新式設備を採用することに關し、米國人自身よりも、遙かに敢爲なりと。獨逸及び英國は特に最上等の米國製機械に對する好市場たる也。』

第六章 實業教育の効果

人皆定職ありとの觀念——定職には特殊の教育を要すとの觀念——獨逸實業教育の特色——普通教育の組織——文學的中學校と實業的中學校——普通及び實業補習學校の設備——尋常工業學校の設備——中等工業學校の設備——工業大學の設備——商業學校の現狀——高等商業學校の設備——模範的中等商業學校

人皆定職ありとの觀念

人民の生活に關し、獨逸と米國との一大相違は、『スタンダード』(定職)なる獨逸語を以て表明するを得べし。此語は

職業、本業、公職、若くは更に廣く、社會的階級、身分を意味す。總て獨逸人は劃然固定したる「スタンダード」を有し、其の當人たることを立證せんとする場合は、常に氏名及び住所と共に、定職を明示するを要す。米國人の如きは、公開圖書館の借覽證、若くは旅館の宿泊簿等に、其の職業の記入を求めらるゝあらば、個人の私事に對する無用の干渉として、之を峻拒するならむ。

獨逸人は弱年の頃よりして、早くも其の「スタンダード」を撰定し、一生を通じて之を變ずること極めて稀なり。米國人民の代表者たるルーズヴェルト大統領の生涯の如く、大學生より、著作家となり、議員となり、警察官となり、牧業者となり、軍人となり、大統領となりたる如き變化は、最も異常のこととして、獨逸人の驚倒する所なり。獨逸人が米國を目して、自由の國と稱するに當り、其の心中に最も著しく感

ずる所は、米國人が屢々其の職業を轉し、轉動の間に、最も適合するものを撰び、克く境遇の變化に應ずるの一事なるべし。此點よりすれば、兩國の最大相違は、政治的自由にあらずして、寧ろ社會的及び經濟的自由にある也。

定職には特殊の教育を要すとの觀念

獨逸人の生活が、此の如くに不動

なる大原因は、凡そ人間たるもの、上下の差別なく、其の渡世の爲めに、各々特殊の教育、訓練を受けざるべからずと云へる思想に在り。或る一事に通曉すべき練習の爲めに、多くの年月と、金錢を費したる後、忽ち其の職業を棄て、更に新たなる練習に歸るの、極めて困難なるは、何人も知る所なり。獨逸に於ては、總ての地位に對し、之に應ずべき豫定の教育課程ありて、賢愚共に必ず之を通過せざるべからず、獨逸人は必ず相當の代價を以て、其の地位を購はざるべからず。

此に於て乎、一の疑問は生ぜざるを得ず。茲に一人あり、其の性情、其の才能、共に全く自身若くは兩親が撰定したる「スタンド」に適せずと假定せよ。彼の生涯は果して如何。之を譬ふれば、四角なる栓を圓き穴に投したる結果如何。不幸にして、此等の四角なる栓は、何時までも、其の能ふ限り、圓き穴に固著せんとする也。此の如きは米國人の想到し得ざる所にして、彼等は必ず云はん、醫師にせよ、法律家にせよ、若し其の職業を以て成功する能はずば、直ちに其の方針を轉じ、能力相應の職業を撰ふべき也。假令勞働者となるも、貧民として救助を受くるに優らずや、而して何等の勞働を以てするも、尙ほ生計を營む能はずは、被救助者たるの外なく、既に被救助者となれば、其の學者たると無學者たると、擇ぶ所なきなりと。而も米國人の論法の如きは、獨逸人の想到し得ざる所にして、彼等は醫師が其の生計

の爲めに、本職以外の事を爲し、法律家が法廷の辯論以外に勞作するが如きを了解する能はず。彼等以爲らく、醫師なるもの、既に醫師として失敗し、法律家なるもの、既に法律家として失敗すれば、全く其の一生を失敗に終りたるものにして、此の如き特種の貧民、即ち智識ある貧民にも救助を與ふるの必要ありと。各人皆必らず、其の「スタンド」を有せざるべからずとの思想、及び生活の方針に應じて、必ず之に適合する教育を受けざるべからずとの思想は、他國に於て見るを得ざる教育の需要を喚起したり。例せば、米國の如き國に於て、單に常識の發動により、何人も之を知り、若くは之を習得すべしとする事物も、獨逸に於ては、常に一定の教課たり。實務の成功者と雖も、尙ほ秩序的理論的學校教育に對して、些の反感を有せざるなり。

今や實際を主とする獨逸の教育は、大に他國の注視を惹き、英國の識者及び領事官等は、特に世界の市場に於ける競争に當らん爲め、獨逸式の工業學校及び商業學校を設立するの急務を論じつゝあり。されば茲に、獨逸の教育方法及び組織を考究するは、其の近年に於ける實業發達の隨一根本的原因を討尋する所以に外ならず。獨逸が産業國として現時の地位に達せんとするに當り、幾多の障礙を排除し、他國民の遭逢せざる困難、即ち一般の窮乏、土地の寒瘠、人民の偏固等の困難を凌ぎ得たるは、其の優秀なる實業教育の賜なること、疑を容れざる也。米國總領事フランク、メーソン氏の報告に曰く、

『製鐵製鋼業に於ても、將た又順序長くして複雑なる紡織業に於ても、兩つながら獨逸が一種特別の製造方法を專有し、其の富源豊饒ならざるに拘はらず、他の産業國民に勝ちて首位を占め得たる所以のものは、只だ其の年々、大學及び工藝學校の卒業生

より徵集せられたる、熟練の化學者、冶金學者、意匠設計者、染色技師、機械技師及び紡績技師の大軍隊を有し、而して彼等の後援として、外國に於ける商業に従事せんため、綿密周到に教育せられ訓練せられたる商人を有するが故のみ。

獨逸實業教育の特色

現時獨逸の教育組織は、曾つてナポレオンの勢力に壓伏せられ、之が恢復を企圖せんが爲め、各種の改革が斷行せられたる時代に其端を發したり。フリードリヒ、ヴィルヘルム皇帝のエナに敗るゝや、慨然として云へるあり、

『今や我邦は智力を以て、物質的勢力の損耗を挽回せざるべからず、而して此の目的を達せんが爲め、予は百事を盡して、人民の教育を振張し完成せんことを希望す。』

獨逸の教育組織に於ては、鑛業にもあれ、機械製造業にもあれ、雜貨小賣業にもあれ、苟も一の實業に従事せんとするものは、啻に之に相

應○す○る○教○育○を○受○く○る○の○み○に○止○ま○ら○ず○、○更○に○理○事○者○は○理○事○者○と○し○て○、○主○任○者○は○主○任○者○と○し○て○、○技○術○職○工○は○技○術○職○工○と○し○て○、○其○の○占○む○べ○き○地○位○に○相○當○す○る○特○別○の○訓○練○を○受○け○ざ○る○べ○か○ら○ず○。○而○し○て○將○來○理○事○者○た○る○べ○き○も○の○は○、○事○業○の○各○部○に○亘○り○て○精○通○せ○ざ○る○べ○か○ら○ざ○る○が○故○に○、○或○る○期○間○は○一○般○使○用○人○の○勤○務○を○な○す○こ○と○あ○り○、○而○も○彼○等○は○其○の○念○頭○、○決○し○て○勤○務○を○同○ふ○す○る○使○用○人○と○伍○す○る○も○の○に○あ○ら○ざ○る○こ○と○を○忘○れ○ず○。○所○謂○『○最○下○位○よ○り○始○む○る○』○も○の○、○米○國○に○於○け○る○と○、○獨○逸○に○於○け○る○と○全○く○其○趣○を○異○に○す○。○米○國○の○子○弟○が○、○實○業○界○に○入○り○て○下○級○の○地○位○に○就○く○は○、○日○常○勤○務○の○際○に○、○之○を○習○得○し○、○而○し○て○其○の○事○務○を○習○得○す○る○技○能○に○應○じ○て○拔○擢○せ○ら○れ○ん○こ○と○を○期○す○る○が○故○な○る○も○、○獨○逸○に○於○て○は○、○何○人○も○、○概○し○て○實○務○の○外○に○、○特○別○の○學○校○教○育○を○受○け○た○る○も○の○に○あ○ら○ざ○れ○ば○、○上○級○の○地○位○に○進○む○こ○と○を○望○み○能○は○ず○。○勿○論○、○獨○逸○に○於○て○も○、○最○下○級○よ○り○榮○達

したるものなきにあらざると雖も、此の如きは寧ろ稀なりとす。

故○に○獨○逸○に○於○て○は○、○從○業○者○の○等○級○に○應○じ○て○特○種○の○學○校○あ○り○、○企○業○者○及○び○理○事○者○た○る○べ○き○も○の○、○爲○め○に○は○、○高○等○學○校○あ○り○、○技○師○及○び○主○任○者○た○る○べ○き○も○の○、○爲○め○に○は○、○中○等○學○校○あ○り○、○技○術○職○工○た○る○べ○き○も○の○、○爲○め○に○も○、○之○に○相○應○す○る○學○校○あ○り○。○而○し○て○此○の○區○分○は○、○工○業○學○校○に○も○商○業○學○校○に○も○、○施○行○せ○ら○る○。

普通教育の組織

獨逸の工業教育及び商業教育を論ぜんとするに當

りては、其の序段として、先づ普通教育に關し一言するの必要を感ず。普通學校の學年は、六歳より十四歳までにして、各州概して義務教育となし、授業料を徴集する地方少なからざるも、甚だ少額なり。普通學校は、高等教育の豫科にあらざるが故に、兒童若し四學年を卒業すれば、其の將來の方針に重大の關係を有する問題を決定せざるべ

からず、即ち引續き普通學校の課程を修了せしむる乎、若くは高等教育に進む乎、少くとも一年兵役證明書を受くる資格を作るの途に就くべきかの問題を決定せざるべからず。若し小學校に留まることゝすれば、其の課程を修了したる後、更に教育を受くべき唯一の機會は繼續學校あるのみ、而も此の學校は、只だ普通學校の與へたる教育を補習するに止まる。されば若し普通學校の四學年を修了したる後、更に高等なる教育を受くることゝ決定すれば、直ちに中學校に入學す。而して獨逸の中學校には、學問を主とするものと、實際を主とするものとの二種あるが故に、中學校に入らんと決定したる兒童は、更に孰れの中學校に入るべきかを決定せざるべからず。

文學的中學校と實業的中學校

學問を主とする舊來の中學校（ギムナジウム）は、希臘及び拉丁の古文學を必要學科とし、此の學科は近年に

至るまで、大學に進むの資格として欠くべからざるものなりしも、今は只だ神學校のみに限られたる資格となれり。新式の中學校に於ては希臘文學を省く。而して此の中學校にも、拉丁語を必要學科とするものと、全く古文學を省き、實用外國語を以て代ゆるものとの二種あり。前者は之を「レアール、ギムナジエン」と稱し後者は之を「レアール、シウレン」若くは「オベル、レアールシウレン」と稱す。兩者共に高等工業學校及び高等商業學校に入らんと欲するもの、並びに實業に資すべき訓練を受けんことを望むものゝ爲めに設けらる。

孰れの中學校にも、二種の課程あり。一は六學年にして、他は九學年なり。六學年の課程を修了したるものは、一年兵役の試験に應ずる資格を有し、九學年の課程を修了したるものは、大學に入るの資格を有す。

一年兵役證明書の價值は、既に畧述したるが如くにして、之を所有するものは、未だ大學に入るの資格なきも、教育ある階級の内に數へられ、社會的及び實際的利益を享受すること大なり。此の證明書を得たるものは、一個年にして兵役を卒へ、而して兵役中は一般の徵兵よりも安樂なるのみならず、更に豫備士官たるの機會を有す。此の如き特權は、多數の獨逸青年を誘ひて、難争苦闘をも顧みず、高等教育を受くるに競はしむる所以なり。

普通及び實業補習學校の設備

獨逸には小學繼續學校(補習學校)の數甚

だ多し。此種の學校は、小學校以上の教育を受くる能はざるもの、及び正則學校の教育を受くるの資力若くは時間を有せざるもの、爲めに設けらる。其の生徒の多數は、晝間本職に従事するを以て、教授時間は必要上、夜間、日曜及び休日に限られざるを得ず。普通の補習學校

は、只だ小學教育を補習するに止まるも、或は特に商工業に關する簡易實用の教育を施すものもあり。獨逸聯邦の多數は、法律を以て、普通補習學校若くは實業補習學校に出席することを強制し、或は傭主をして、其の徒弟が果して補習教育を受けつゝあるかを監督する責任を負はしむるあり、或は更に進みて、傭主に命ずるに、其の徒弟に對し、毎日の勤務時間中に、此種の學校に出席する許可を與へしむるものあり。補習學校の多數は、地方自治體の支給を受く、或は職工の教育に留意する私設組合、概して傭主組合より、維持費用の全部若くは一部を受領するものも亦多し。一九〇一年に於ける普魯西國の實業補習學校費は、四百五十萬馬克以上に達し、而して左の財源より支給せられたり。

一、授業料收入

百分、
一三三

一、國庫支給

二八

一、地方學校基金及寄附金

四九

實業補習學校の最も困難とする所は、教師の問題にして、其の教授時間短かきが故に、專屬の教師を以てしては、僅かに普通勤務の一部分に該當するのみ。故に補習學校の授業は、晝間公立學校に奉職し、且つ自身も亦實業上の訓練を必要とする教師、若くは教授課目たる實業に従事し、教授の技能及び智識を有する人の兼職たり。教師の講習課程は高等實業學校に於て授けらる。

總て工業補習學校及び商業補習學校は、普通の補習學校と同じく、小學教育、特に商工業に密接の關係を有する事項の教育を補習充足する責任を有す。獨逸語、算術及び圖畫は、各工業補習學校にて必ず教授せらる。獨逸語の教課は、成るべく、術語、商務、獨逸法律(特に備

主と被備者との關係に關するもの)經濟初步等に屬する讀書及び作文を含むものとす。算術は、商工業に於て、日常使用せらるゝ計算、特に簿記に使用せらるゝ計算に重きを置く。圖畫は原則を授けたる以上、實業の部門によりて、其の教課を異にす、其の要旨は、生徒をして設計書及び圖案に熟せしめ、設計圖案により作業する能力を具備せしむるに在り。獨逸の實業教育は、最高の程度より最低に至るまで、總て重きを圖畫の練習に置く。大都會に於ける補習學校の教課中には、幾何學、三角術、代數學、物理學、化學、佛語、英語、歴史、速記術、タイプライティング等を加ふ。普魯西國內に於ける、補習學校の發達は畧く左表の如し。

學校數	生徒數	義務的學校數	同生徒數
一八八二年	六二三	五七、〇八四	三三五
			三二、五五八

一九〇三年

一、一六九

一七六、六三八

九九七

一三七、六七八

此の如く迅速の發達をなしたる原因の一は、普魯西國が、其の地方自治體に對して、學校基金を交附する條件として、義務的入學を規定せる法律を施行せしめたるにあり。

商業補習學校は、便宜上、普通補習學校に附設せらるゝもの多し。商業徒弟の爲めに、特に設けらるゝ教課は、書簡文、商業算術、商業及び爲替の理論及び歴史、商業地理、簿記、速記術、タイプライチング、商法等なり。佛語及び英語は、特別の注意を以て教授せらる。一九〇三年に於ける、普魯西國の商業補習學校は二百五十三校にして、生徒數は二五、九二七と算せらる。

尋常工業學校の設備 各種工業學校中、尋常工業學校は、大工業に使用せらるゝ下級役員及び職工取締、若くは極めて小規模なる事業の

理事者を養成するを目的とし、其の入學資格は概して小學校卒業(算術及び圖畫に關して特別の修業を必要資格とする場合多し)及び商業に於ける數年間の實地練習、少くとも徒弟期の修了と定めらる。尋常工業學校の教課は、其の主眼とする工業の種類によりて、大なる差異あるも、算術、理化學及び圖畫は、孰れの工業學校に於ても、最も大切に教授せらる。學校の見る所如何によりて、或は實地の方面に重きを置き、或は理論の方面に重きを置くも、多くの場合に於て、一年の或る期間は、其の勤務によりて、商工業に關する實地の經驗を積み、勤務以外の期間は、學校に入りて教課を習得す。

中等工業學校の設備 中等工業學校は、大規模産業に任用せらるゝ上級役員、及び中位の實業家を養成するを目的とし、入學志願者は少くとも一年兵役證明書を有するものならざるべからず、或る學校にて

は、一定期間の實地經驗を入學資格中に加ふるものあり、附屬の工場若しくは實驗室を有する學校にては、之を免除するものあり。成績の監督は甚だ嚴重にして、下級の課程を満足に通過したるものにあらざれば、上級に進むことを許さず。中等工業學校の學期は二箇年乃至三箇年にして、卒業生は通例、工業大學に入學する資格を與へらる。

工業大學の設備 工業大學は、工業界に於て最高の地位を占むべき人を養成し、又學校教授若くは大工場の實驗室を擔任すべき技師の如き、科學的考究を本職とする人を教育するが爲めに設けらる。獨逸をして産業國民の頭位に列するを得せしめたるは、實に工業教育に關する此等の設備なりとす。

工業大學は、エーキス、ラ、シヤペルのものを除き、總て少くとも七十年前の創設に係る。近年に至り、『レアルシウレン』設立せられ、工藝

に關する高等教育を擔任するに及びて、工業大學は其の教課を、全く大學程度のみに限ることとなり、而して工業大學は遂に、文藝を主とする舊大學と伍を同ふするに至れり。教授料は、實驗室費用を除きて、一學年七十馬克乃至八十馬克なり。一九〇三年に於ける、工業大學の生徒數は一四、六二六にして、内二、二四二人は外國よりの留學生なりき。同年の教師員數及び生徒員數を學校別とすれば左の如し、

獨逸工業大學校別表

	教師數	生徒數
伯林(シャロットテンブルク)	四〇二	四、一九四
ムニヒ	一一五	二、八〇四
ダルムスタット	一〇八	一、七〇〇
カールスルーエ	一二六	二、六八五
ハノヴァー	九四	一、五二三

ズレステン	八七	一、〇八二
スツツトガルト	九五	八六一
エトキス、ラ、シヤベル	六六	六六五
ブルンスウイック	五二	四七二
合計	一、一四五	一四、九八六

獨逸政府の方針は、成し得る限り、全國の教育組織を直轄するに在り。工業教育及び商業教育の方面に於ては、此の目的未だ全く遂行せらるゝに至らずして、今尙ほ利益の爲めに經營せらるゝ幾多の私立學校あり、而して公立學校の多數も、教育の成績によりて利益を享受する會社組合等の寄附を受けつゝあり。獨逸國內に於ける各種工業學校の五百三十六は公立にして、五十一は私立なり。工業學校の教師は、通例、教育を以て本職となすも、旁ら使用人として

て實務に役するものも亦多し。此の如き兼職は、教育と實際との關係を密接ならしめ、且つ學校に取りては、俸給の割合に比して、良教師を囑託し得るが故に、好都合のことなりとす。工業學校の教師を養成する爲めには、別に師範學校の設備なし。

補習學校以上の程度にある工業學校を列擧すれば左の如し。但し左表に於て、上欄の數字は標記の工業を、主要の教課とする學校數にして、下欄の數字は、工業を其の一部門に加ふる學校數なり。

大學程度の學校	九
工業大學	三
鑛業專門學校	一〇
中等工業學校	一〇
專門各科を置くもの(公立)	一〇

同	(私立)	二	一〇
機械科を主とするもの(公立)	(公立)	一二	二〇
同	(私立)	三	二
紡織科を主とするもの(公立)	(公立)	一三	
尋常工業學校			
建築科	(公立)	五三	九
同	(私立)	八	六
機械科	(公立)	一三	二
同	(私立)	一三	四
鑛業		五八	
冶金		一〇	
紡織		一〇四	
木彫		二四	五
陶業		六	二

工藝	二七	
手工	二七	
獸醫	六一	
航海	四〇	一
河川航運	五二	
造船		四
其他	四二	九

商業學校の現状

獨逸に於ける商業教育の發達は、其の工業教育に後るゝこと遙かにして、今尙ほ不完全の状態にあり。最も不足を感ずるは、中等商業學校にして、此の不足を補はんが爲め、高等學校は自ら其の程度を引下げ、中學校の教課を授けつゝあり。尋常商業學校にありては、商業科目と共に、普通教育をも授けんことを期するもの多し、而も其の多數は私立にして、實力甚だ劣等なるとを免れず。

商業學校は工業學校の如く、世間一般の歡迎する所とならず、獨逸實業家にして、米國人と其の意見を同じくし、普通教育を受けたる青年は、直ちに實地の業務に就くを宜しとするもの尠ならず。然れども、商業會議所其他實業家の團體が、教育機關の設備、及び各種商業學校の維持金募集に盡力するを見れば、多數の人士が商業教育の贊成者たること明白なりとす。

政府が自ら商業學校を設立したる例は、極めて稀にして、現存の多くは、商業家組合の發意及び賛成により地方自治體の設立したる所に係る。而して此種のものも、純然たる私立學校に過ぎざるものあり。

高等商業學校の設備

高等商業學校は、大商會の業務管理者、商業會議所の理事、領事官若くは商業學校の教師たるべきものゝ爲めに、商業に關する學術を教授す。其の現在校數は、ライプチヒ（一八九八年

創立、フランクフルト、アム、マイン（一八九八年）、エーキス、ラ、シヤペル（一八九八年）、コローン（一九〇一年）、伯林（一九〇五年）の五校なり。卒業生は大學卒業に准すべき待遇を與へられ、ライプチヒ高等商業學校の如きは、大學と密接の連絡を結び、高等商業學校の學生は大學の講義を聽き、大學教授は高等商業學校に來りて講義をなす。フランクフルト高等商業學校は同市の『レアル、ギムナジウム』と密接の關係を有し、エーキス、ラ、シヤペル高等商業學校は工業協會に附設せられ、純然獨立するは、只だコローン高等商業學校のみ。

一九〇二―三年に於けるライプチヒ高等商業學校の、現在學生數は五百十九人にして、内二百十三人は外國留學生なり、而して外國學生の最多數を占むるは、露西亞の百十人にして、米國は一人もなし。

高等商業學校に入學するを得るものは、（一）『ギムナジウム』九箇年の

全科を卒業したるもの、(二)中等商業學校を卒業したるもの、(三)國定の試験に及第したる獨逸人の教師、(四)「ギムナジウム」の六學年を修め(一年兵役證明書を有し)、實務見習を了りたるもの、四種とす。

第四種の入學資格を設けたるは、最も賢明なる考慮と云ふべし。「ギムウジウム」に於ける三箇年の學習に代ふるに、實務見習を以てせば、大學に匹敵するの程度を維持し得べきのみならず、見習によりて得たる實務との觸接は、其の學生をして、高等商業學校の教課を、充分に且つ實務的に了解咀嚼するを得せしむ。

ライプチヒ高等商業學校の教課は、外國語、商業算術、簿記、普通商業工藝學、速記術、タイプライチングなり。大學の教課にして、高等商業學校に融通せらるゝは、經濟、政治、財政、統計、貨幣及び銀行、爲替の諸學科、應用的社會學、國際法、行政法、商法、商業地理、應用化學に

して、教師たらんとするものには、別に教授法を加ふ。

模範的中等商業學校

中學程度の模範的商業學校はライプチヒの「ハシデルスレールアンスタット」なり。此の學校は商業會議所の維持する所に係る。學課の編成左の如し、

一箇年課程(一年兵役證明書を有する見習者の數に設けらる)。

英語書簡文	每週二時間
佛語書簡文	同 二時間
商業算術	同 二時間
爲替法及關係法規	同 一時間
簿記	同 二時間
商業原理	同 一時間
速記術	同 二時間

三箇年課程(小學教育を了り地方商家に徒弟勤務中のものゝために設けらる)。

獨逸語	1	1	1
英語	2	2	2
佛語	2	2	2
商業算術	4	3	2
商業原理	1	1	1
簿記及商店事務	1	1	1
商業書簡文	1	1	1
商業地理	1	1	1
習字	2	1	1
速記術	2	1	1

第一年 第二二年 第三年

每週教授時間

三箇年課程（小學教育を了り、別に獨逸語、佛語、地理、歴史及び算術を講習し、實地勤務を有せざるものゝ爲めに設けらるる）。

獨逸語	4	3	3
英語及書簡文	5	4	5
佛語及書簡文	5	4	5
數學	3	3	4
商業算術	5	3	2
物理學	2	2	2
商業工藝學	2	2	2
化學	2	2	2
實物研究	2	2	1
一般地理及商業地理	2	2	2
一般歴史及商業歴史	2	2	2
商業及爲替	2	2	1

第一年 第二二年 第三年

每週教授時間

簿記及商店事務			三		三
經濟學					二
習字	二		二		
速記術	二		一		一
體操	二		二		二
隨意科		西班牙語、伊太利語、露西亞語			

一箇年課程（一年兵役證明書を有し、卸賣商店、大製造所若くは銀行に入らんと欲するもの、爲めに設けらるる）。

必修課目

英語及書簡文	每週五時間
佛語及書簡文	同 五時間
商業算術	同 四時間
商法及爲替法規	同 二時間
簿記	同 四時間

獨逸書簡文	同 二時間
經濟學	同 三時間
商業歴史及地理	同 三時間
實物研究	同 三時間
習字	同 一時間
撰擇課目	
外國人に對して獨逸語	同 二時間
西班牙語	同 二時間
伊太利語	同 二時間
露西亞語	同 三時間
速記術	同 二時間

第七章 労働者の保護

賃金の高低と繁榮の程度——賃金問題の要點——過去二十五年間に於ける
 賃金の異動——極端なる窮民なし——満足即ち幸福の秘訣——職工に對する
 周到の保護——少額の收入を活用する特長——政府の公益擁護政策——
 僱主と労働者の關係——工場法規の要點——職工組合の現状——強制保險
 の制度——疾病保險の概要——負傷保險の概要——殘疾老衰保險の概要
 ——各種保險の效果——職工住宅問題

賃金の高低と繁榮の程度

一國の經濟狀態を考究するに當り、終極の

歸著點たるべきは、輸出入貿易額の算出にもあらず、鐵若くは織物類製産額の算出にもあらず、此の如き算出は目的にあらずして、只だ方便たるのみ。各般考究の眞意本領は、蓋し、間接にもあれ、直接にもあれ、其の國民が享受しつゝある繁榮の程度を測定し、其の原因を確認し、以て他國をして則る所を知らしめ、其の繁榮を齎らし來る所以のものを採り、障礙となるべき所以のものを避けしむるに在り。

獨逸國が最近年間に於て、實業の大進歩をなしたる事實、製品の産出高消費高、共に著るしく増加したる事實、其の外國貿易が他の歐洲諸國よりも、遙かに大なる率を以て發達したる事實は、既に前章に詳説したる所の如し。而も以上の事實を知るのみを以て足れりとせず。此等の變化が人民の福利に如何なる効果を及ぼしたるかを知らざるべからず。産業の進歩は、必ずしも常に、經濟的繁榮と同意義なら

ず。之を實例に徴するに、英國經濟史の最も暗黒なる時代は、産業革命の時期と稱せらるゝ十九世紀の前半にして、國民の富力は飛躍の勢を以て増進したるも、人民の多數は、最も貧しき収入を以て、最も憐むべき生活に沈淪しつゝありき。
 人。民。の。經。濟。的。狀。態。を。判。定。せ。ん。と。欲。せ。ば、其。の。賃。錢。率。及。び。收。入。額。に。加。へ。て、日。常。の。物。價。及。び。生。活。の。費。用。に。關。する。要。點。を。知。悉。せ。ざ。る。べ。か。ら。ず。而も此等の事實のみを以てしても、尙ほ動かすべからざる結論に達するを得ず。同等の購買力を有する同額の現金収入ありとして、甲者は之によりて愉快なる生活を營み得るも、乙者は尙ほ窮乏を訴ふることあらむ。其の收入及び物品を利用するの能力は、一の國民と他の國民との間に、著るしき懸隔あり、特に浪費的なる米國人と、節儉的なる佛國人との如き、懸隔の最も甚だしきものとす。

而して又、生活に關する周圍の事情にして、金錢を以て購ひ得べき物品と全く無關係のもの多し。即ち市町村の法規、清潔にして點燈の設備ある街路、公園、學校、博物館等の如きは、金錢を以て購ひ得べき物品に匹敵する實在の利益を、其の所有者に與ふ。

賃錢問題の要點

賃錢問題は、又生産費の最も重要な一項目なるが故に、賃錢率の比較は經濟狀態の研究と相離るべからず。而も經濟狀態の要件として、賃錢率を調査するに當りては、傭主の觀察點に立ち、賃錢なるものを以て、全く勞作の價と見做さざるべからず。傭主なるものは、職工各自に支給する賃錢よりも、寧ろ作業の功程に對して支拂ふべき總額に留意すること多し。されば賃錢の問題は、作業の分量及び性質如何にあり、賃錢の高きは勞作費の高き所以にあらず。賃錢の低きは勞作費の低き所以にあらず。或る一國に於ける

一般賃錢率と、他國に於ける賃錢率とを比較して、假令兩者の間に高低の差異あるも、低率なる國は高率なる國よりも、生産費を要すること尠く、従つて世界の市場に於ける競争に便宜を有すること多しと結論する能はざる也。

過去二十五年間に於ける賃錢の異動

以上の考慮を念頭に記して、獨逸の賃錢率を調査し、其の要點を概括すれば、左の諸表の如くなるべし。

第一表 諸工業平均賃錢率累年比數

(一九〇〇年平均數を一〇〇と假定す)

年次	指數	年次	指數
一八八六	八一・四	一八九四	八五・九
一八八七	七八・七	一八九五	八四・九
一八八八	七九・三	一八九六	八八・六

一八八九	八〇・八	一八九七	九〇・九
一八九〇	八四・四	一八九八	九四・四
一八九一	八四・八	一八九九	九六・八
一八九二	八四・三	一九〇〇	一〇〇・〇
一八九三	八四・八		

以上は保險會社及び關係官廳の調査に基づくものにして、土木建築業、鑛業、精鍊業、紡織業及び化學工業に使用せらるゝ總ての男工、女工、幼年工を網羅す。但し此の統計に於ては、一箇年千二百馬克を超過するものは、實際超過額の三分一と見積りて計算す。即ち例せば、賃錢年額千五百馬克に達するものゝ如きは、其の三百馬克を一百馬克と見做して、總額千三百馬克と計算せり。故に此の統計表は千二百馬克以上の賃錢を、實際よりも少額に見積るの

結果となれり。而も千二百馬克標準以下の賃錢も、同じく上騰したるを以て、獨逸國に於ける平均賃錢率の上騰は、此の統計表に示されたる數字以上なりと推定することを得べし。

第二表 造船職工賃錢累年比較(漢堡某造船所の報告)

	一八八〇年(每一時間)	一八九〇年(同)	一八九九年(同)
造船部職工	二八一三五 ^{ペニヒ}	三二一四五 ^{ペニヒ}	三四一四八 ^{ペニヒ}
機械部職工	三〇一三三	三五一四二	三九一四三
手傳職工	二六一二八	三一一三四	三三一三四

一八八九—一九〇〇年度に於ける造船業使用職工の總數は五〇・四五一にして、内一五、三四一は造船部職工、九、九〇六は機械部職工、六、六九六は手傳職工、二、八一六は汽罐部職工にして、以上を合計すれば、全數の六割四分を占むるが故に、其の賃錢を調査すれ

ば、以て造船業に使用せらるゝ職工全部を推知するに足るべし。而して又、此の數字に示されたる賃錢率の上騰は、一八八五年の頃より、八時間主義の實行により、勞作時間の短縮に拘はらず、實際に行はれたることを記憶せざるべからず。

第三表 普魯西石炭坑夫賃錢累年比較(平均一個年總額)

年次	坑内勞働者		坑外勞働者	
	一 ^石	二 ^片	一 ^石	二 ^片
一八八八	四一	三三	三四	二六
一八八九	四五	九六	三六	一〇二
一八九〇	五二	六九	四〇	七〇
一八九一	五三	一七一	四〇	一八一
一八九二	五〇	一九九	三九	一一八
一八九三	四八	〇二	三八	一四一
一八九四	四八	一三四	三八	一七二

以上の數字は、普魯西政府の調査に基づきたるものにして、信憑すべきこと固より論を俟たず。

第四表 紡織職工賃錢累年比較(平均一個年總額)

年次	シレンシア地方		アルサス地方	
	一 ^{馬克}	二 ^{馬克}	一 ^{馬克}	二 ^{馬克}
一八八五	四〇一	四〇一	六〇〇	六〇〇
一八八六	四〇一	四一〇	五九二	六〇一
一八八七	四一〇	四一五	六〇一	六〇六
一八八八	四一五	四二五	六〇六	六〇六

一八九〇	四三五	六一八
一八九一	四三八	六一七
一八九二	四三九	六〇八
一八九三	四四四	六二四
一八九四	四四六	六三〇
一八九五	四五三	六四五
一八九六	四六一	六四九
一八九七	四七一	六五五
一八九八	四八三	六六三
一八九九	四九四	六七〇
一九〇〇	五〇六	

以上の如く、紡織業に於ける賃錢の上騰は、一見顯著ならざるも、統計表に現はれざる状態の改良せられたるもの尠ならず。手機

職工及び家内工場の消滅に歸したるは其の一例なり。女工及び幼年工の使用増加したることも亦、平均率の上騰を大ならしめざりし一因なりとす。女工使用の割合は、總數に對して、一八八二年の三割八分より、一八九五年の四割五分に増加せり。一八九五年の統計によれば、紡織業に使用せらるゝ職工總數は、約七十五萬なりき。

第五表 都會に於ける日稼者賃錢累年比較

市名	人	口	一八八四年	一九〇〇年	一九〇四年
アーヘン	一三五、〇〇〇	馬克	二・〇	二・四	二・四
アルトナ	一六一、〇〇〇		二・五	三・〇	三・〇
バーメン	一四一、〇〇〇		二・四	二・四	二・七
伯林	一、八八八、〇〇〇		二・四	二・七	二・九
ブレメン	一六三、〇〇〇		三・〇	三・〇	三・五

プレスラウ	四二二、〇〇〇	一・六	二・〇	二・四
ブルンスウイック	一二八、〇〇〇	二・〇	二・二	二・五
シヤイロツテンブルク	一八九、〇〇〇	二・〇	二・五	二・九
チエムニツツ	二〇六、〇〇〇	二・〇	二・二	二・五
コロイン	三七二、〇〇〇	二・五	二・五	三・〇
クレフェルト	一〇六、〇〇〇	二・四	二・五	二・六
ダンチヒ	一四〇、〇〇〇	一・八	二・〇	二・五
ドルトムンド	一四二、〇〇〇	二・〇	二・五	二・七五
ズレスデン	三九六、〇〇〇	二・四	二・五	二・八
ドイセルドルフ	二一三、〇〇〇	二・四	二・四	三・〇
エルベルフェルド	一五六、〇〇〇	二・四	二・四	二・七
エツセン	一一八、〇〇〇	二・四	二・四	二・八
フランクフルト、アム、マイン	二八八、〇〇〇	二・五	二・五	三・一
ハールレ	一五六、〇〇〇	二・一	二・二	二・四五

漢 堡	七〇五、〇〇〇		三・〇	三・〇
ハノヴァー	二三五、〇〇〇	一・八	二・四	二・七
カツセル	一〇六、〇〇〇	二・一	二・一六	二・五
キール	一〇七、〇〇〇	二・七	二・七	三・二
キヨールニヒスベルク	一八九、〇〇〇	一・七	二・〇	二・三
ライプチヒ	四五六、〇〇〇		二・〇	三・〇
マクデブルク	二二九、〇〇〇	二・〇	二・〇	二・五
マンハイム	一四一、〇〇〇	二・三	二・七	二・七
ミューニヒ	四九九、〇〇〇	二・三	二・五	三・〇
ヌレンブルク	二六一、〇〇〇		二・二	二・九
ポゼン	一一七、〇〇〇	一・六	一・六	二・〇
ステツチン	二一〇、〇〇〇	二・〇	二・二五	二・五
ストラスブルク	一五一、〇〇〇	二・二	二・五	二・五
スツットガルト	一七六、〇〇〇	二・〇	二・七	三・〇

以上の統計表により、賃錢率の上騰したる事、及び従業の大に確實となりたることを見るべし。

第七表 クルップ工場に於ける平均賃錢累年比較

年次	日給	比例
一八七一	三・〇三	一〇〇
一八七五	三・八九	一二八
一八八〇	三・一九	一〇五
一八八五	三・六四	一二〇
一八九〇	三・九五	一二〇
一八九一	四・〇五	一三三

合計	職工總數	總數に對する合計の割合
三八一	五四五	六九・九
七〇九	八八四	八〇・二
一、〇四一	一、二九六	八〇・三

第八表 化學工業職工賃錢累年比較

一八九二	四・〇六	一三四
一八九三	四・〇九	一三五
一八九四	四・〇六	一三四
一八九五	四・一〇	一三九
一八九六	四・二四	一三九
一八九七	四・四八	一四七
一八九八	四・五七	一五〇
一八九九	四・七二	一五五
一八九〇	四・七四	一五七

エツセンに於けるクルップ會社の製鐵所は、蓋し獨逸國に於ける最大工場の一にして、使用職工の數、二萬四千を以て算せらる。

年次	賃金年額
一八九四	八八五 ^{馬克} 〇四
一八九五	八九四・一六
一八九六	九〇六・〇四
一八九七	九二二・〇三
一八九八	九四八・三一
一八九九	九六五・七一

即ち化學工業に使用せらるゝ職工の賃金は、最近六年間に於て、最も著るしき上騰を示せり。

第九表 獨逸市民平民所得累年比較

年次	所得額
一八四〇	二四一 ^{馬克}
一八七〇	三七二

一八九五	五〇六
一九〇〇	六五〇

右は所得税統計により計算したるもの也。以上の諸統計表は、獨逸職工の賃金が、總ての工業を通じて、著るしく上騰したることを、明白に立證する所以にして、賃金の上騰と同時に、一日の勞作時間が、大に短縮せられたること亦、肝要なる事實也。而して賃金の上騰は、生活費の騰貴を以て相殺せざりしが故に、職工の利福は實際に於て増進せること、固より問ふを要せず。「クルップ」工場の調査に係る、エッセンの食品價格表は、以て證明とするに足る。即ち左の如し。

エッセンに於ける食品價格累年比較表

年次	糎肉(毎キロ) 馬克	比 百分	馬鈴薯(毎百キロ) 馬克	麵包 馬克
一八九九	一四七	一〇四	一〇二〇	一〇九
一九〇〇	一四四	一〇二	一〇二二	一一一
一八七一	一三五	一〇〇	八〇〇	一〇六
一八七五	一三〇	一〇四	七九四	一〇八
一八八〇	一三〇	一〇四	七九四	一〇八
一八八五	一三〇	一〇四	六一一	一〇四
一八九〇	一三二	一〇六	五九八	一〇四
一八九一	一三五	一〇九	八四七	一〇七
一八九二	一三〇	一〇四	七四七	一〇八
一八九三	一三三	九八	四八六	一〇三
一八九四	一三七	一〇二	五二七	一〇二
一八九五	一三七	一〇〇	五九三	一〇二
一八九六	一三一	一〇五	五三〇	一〇三

年次	燻豚肉(毎キロ) 馬克	比 百分	牛肉(毎キロ) 馬克	比 百分
一八七一	一四〇	一〇〇	一〇一〇	一〇〇
一八七五	一四九	一〇六	一〇二六	一〇五
一八八〇	一五三	一〇九	一〇二〇	一〇九
一八八五	一四四	一〇二	一〇二六	一〇九
一八九〇	一七一	一二一	一〇三〇	一二五
一八九一	一五〇	一〇六	一〇三〇	一二八
一八九二	一五五	一一〇	一〇三一	一二八
一八九三	一五一	一〇七	一〇二四	一一〇
一八九四	一五〇	一〇六	一〇三〇	一一三
一八九五	一四一	一〇〇	一〇三三	一一八
一八九六	一三六	九六	一〇二〇	一二二
一八九七	一五一	一〇七	一〇二〇	一二九
一八九八	一六三	一二六	一〇二〇	一〇九

一八九七	一・二五	一〇八	六〇四	・一四
一八九八	一・三三	一一五	六・二七	・二四
一八九九	一・四〇	一二一	五・八七	・二四
一九〇〇	一・四〇	一二一	五・五六	・二三

此の統計表を前記の諸表と對照すれば、結局、獨逸に於ける賃錢率が、近年に至りて上騰したる事、賃錢率の上騰が日常必需品の騰貴よりも大なりし事、即ち一國の繁榮に伴ひて、勞作者の福利も亦増進したる事を確認するに足るべし。更に又、勞作者特に下級勞作者の狀態が、漸次良好となりたる證左は、之を過去十數年間に於ける海外移住數の減少に求むることを得べし。今や外國よりの來住數は、外國への移住數よりも遙かに多き也。

極端の窮民なし

英國若くは米國に於ける、勞働社會の狀態を視察

したるものが、獨逸に入りて奇怪に感ずるは、極端なる窮民に出會せざることなり。伯林の陋巷は、紐育若くはシカゴの如き光景にあらず。されば視察者、或は、伯林をして、此の如く清潔且つ平調ならしむる所以を、市政の卓越せるに歸し、窮乏困苦の實情は、人目に觸れざる僻隅に伏在すべしと思惟するあらんも、狹衢又狹衢、尋ね來り尋ね去りて、遂に其の推測に適合すべき實在を見る能はざるべし。街上の貧兒、路傍の窮民、一見して其の貧兒たり、窮民たるを知るべし。雖も、而も彼等の貧窮なる狀態は、米國の大都會に於けるが如き、嫌惡すべきものにあらず、リヴァプール、マンチエスター等に於けるが如き、不潔、不體裁、亂醉のものにあらず。されば視察者、或は、之を獨逸政府の施設に歸し、巨額の救濟金を支出し、極度の窮乏を阻止すと思惟するあらんも、純然たる救濟事業の爲め、獨逸に於て使用

せらるゝ金額が、英國に於けるよりも、甚だ少なきは、信憑すべき人の證言する所なり、シユモラー教授の説によれば、貧民救助費に關する英國人の負擔は、獨逸人の二倍に上ると。

獨逸の勞働社會には、此の如く極端なる貧民なき代りに、英國若くは米國に於けるが如く、豊かなる生活を營み得るもの、蓋し尠なかるべし。要するに、獨逸の勞働社會に、窮乏及び有福の兩極端なき事實は、觀察の能力あるもの、必ず看取する所たり。普魯西の前商務大臣ベルレブシユ氏が、勞働社會の現状を説明したる結論に云へるあり、

『各種の産業に使用せらるゝ勞作者の状態は、最近十數年間に於て、一般に改善せられたり、而して或種の産業及び或る階級の職工に對しては、疾病、災害、老衰に對する保險の恩惠を別とするも、其の

利福の増進頗る著るしきものあり。絶對、永久の貧苦なるものは、著るしく輕減せられ、今や實に殆んど或る一部分の家族的産業に其の跡を止むるのみとなれり。此の事實は勿論、喋々の説明を要せざる所にして、社會黨の領袖と雖も、今や多數人民が漸次貧苦に陥りつゝありとの説の、到底維持すべからざるを認むるに至れり。人民全體の利福は歩一歩、徐ろに昇進し、三十年前僅かに糊口し得たる階級の人民にして、今や中等社會の地位を占め相當の收入を亨くるもの尠しとせず。』

獨逸人の訓練、節制、謹直

此の如く、獨逸の勞働社會に、極端の貧民なきは、果して何故乎。獨逸人種を以て、『アングロサクソン』人種に比すれば、慥かに其の教育及び訓練を異にせり。獨逸人の見る所によれば、凡そ人たるものは、其の天分、假令極めて下賤なるも、必ず之に

適應する教育を受くべきものにして、而して國民皆其の職業に對する教育の機會を附與せらるゝのみならず、此の教育たる、多くの都市に於て義務的に強制せらる。前章にも説明したるが如く、補習學校の設備は、晝の時間を勞作に供するものゝ爲めに、夜間及び日曜日に於て、教育の機會を與へつゝある也。獨逸の教育制度は、其の効果の及ぶ所、實に英國及び米國の慈善救濟會をして、救ふ能はざるを歎せしむる無能無益の窮民なきに至らしめたり。

他の原因は、下級社會の人民が、比較的節制謹直なるにあり。但し飲酒に關する統計によれば、獨逸人の消費量は、英國人よりも多きこと、左表に示すが如くなるも、表面の觀察は、未だ以て事實の真相を語るに足らず。

英獨人飲酒消費量比較(平均一人一箇年消費量)

	英國	獨逸
醸造酒類	〇・四一 <small>ガロン</small>	〇・七七
麥酒	三一・九 <small>ガロン</small>	二七・一
蒸溜酒類	一・〇三 <small>ガロン</small>	一・八五

以上の如く獨逸人の消費量が、英國人よりも多きは、勞働社會の不節制なるが爲めにあらずして、上流社會の飲むこと多きが爲めなり。近時獨逸に於ても、禁酒主義者の運動なきにあらざるも、未だ英國及び米國に於けるが如き成績を示さず、全く禁酒を誓言するもの甚だ稀にして、上流社會一般に飲酒の習慣を有するが故に、平均消費量に於て、獨逸却つて英國の上位にあり。而も獨逸の勞働社會は、強烈なる蒸溜酒類を飲むこと多からざるのみならず、獨逸の麥酒は英國の『エール』よりも微弱なり。且つ獨逸に於ける酒類の價は、英國に於けるよりも、遙かに廉なるが故に、獨逸職工が、飲酒の爲めに投ずる

収入の割合は、英國人若くは米國人よりも遙かに尠なき也。獨逸の職工が飲酒の爲めに浪費する所は、此の如く比較的少額なり。若し夫れ賭博の爲めに浪費する所に至りては、更に少額なりと云ふを得べし。獨逸には競馬及び公開賭博を目的とする札場等の設備なし、而して此等の外、或種の賭場なきにはあらざるも、其數甚だ尠し。但し國家自ら富籤を發行して、巨額の歳入を收納しつゝあるは事實なるも、而も其の發行方法たる、特に普魯西國に於ては、勉めて下級社會の僥倖心を挑發せざるの用意を以て規定せらる。且つ富籤の類は、他の種類の賭博よりも、其の弊害尠なし。普通の賭博に於ける、最大の害毒は、多々益々、人をして熱狂せしめ、遂に其力の及ばざる巨額の冒險を試みしむるにあり。之に反して、彩票の購入は、往々にして、資本の放下の如く、此の資本を貯蓄せんが爲め節儉の風を誘ふに至る。

満足即ち幸福の秘訣

獨逸の職工なるものが、其の一生を通じて、社會上の地位を進め得るの機會、極めて尠なきことは、既に説明したる所の如し。獨逸に於ては、青年たるもの、一たび其の定職ノルマを撰擇すれば、殆ど全く一生の運命を決定したるものにして、不慮の事件出來せざる限りは、爾後年々の収入をすら豫知するを得べきなり。斯く鑄型に入れたる如き生活状態は、失敗の危険を冒すとも、尙ほ新らしき運命を開拓せんことを欲するもの、忍ぶ能はずとする所なりと雖も、獨逸人は怡々として之を甘受し、又他あるを知らざる也。彼等の人生觀は、彼等に教ゆるに、満足は即ち幸福の秘訣なる事を以てす。斯くて彼等は、分外の事を望み得べからざるが故に、其の現實に存する所を、最も有利に使用せんが爲め、其の全力を傾倒す。下級社會の

ものが、其の地位運命に満足せず、幾多の計畫を行ひ、失敗を閲し、遂に立身出世したる實例は、獨逸人の容易に目睹せざる所なり。獨逸の下級社會が、計畫を有せざるは、之を用ゆるの機會を有せざるが爲めにして、彼等は冒險及び轉動よりも節儉及び滿足の、更に得策なるを知る。

職工に對する周到の保護

疾病及び災害に對して勞働者を保護し、且つ養老金の給與を約束せる保險諸法規の制定施行は、彼等をして、益其の地位に満足せしむる傾向を助長したり。救済金及び養老金の甚だ少額なるは問ふ所にあらず、此種の給與金が、畢竟勞働者自身の賃錢より支拂はるゝものに外ならざるの事實も、亦問ふ所にあらず、要點は實に、人生の不幸災禍を減殺するに在り。此の如き保護が、心理的作用によりて、人民の幸福を増進するの程度、豈に算定し易からんや。

將來の生活に對する憂慮を除き得るの價值、豈に算定し易からんや。若し單に浴恩者が受領する金額によりて、此の結果を算定し、或は若し英米職工の高率なる賃錢と相殺して、兩者間の優劣なしと結論するものあらば、蓋し大なる誤謬なり。

然りと雖も、職工に對する獨逸政府の保護が、或る場合に於て、英國若くは米國政府に及ばざる顯著の一事あり。英米兩國に於ては、職工の作業に對し、法律を以て、優先の留置權を附與するも、獨逸に於ては、資本家の強大なる利害の爲めに、此種の法律の通過を阻止せられたり。大都會に於て、借入資本を以て投機的に設立せられたる建築會社が、幾ばくもなく破産するは、往々見る所にして、而も此の如き場合に於て、資本の貸主は、建造物を留置し、以て損失を免れ得るも、職工及び勞働者は、全く其の賃錢を請求するの途を有せず。

少額の収入を活用する特長

各國職工の状態を比較するに當りて、賃

錢以外、更に幾多の要件あることは、上來叙説したる所によりて、畧々明瞭なるべし。賃錢低廉なるも、假令其の純収入少額なるも、尙ほ能く同等若くは優等の幸福を伴ひ來らざればならず。少額の収入と雖も、若し其人にして、之を利用し活用するに全力を傾注するあらば、做し得べき成績の多きこと、往々驚くに堪へたり。米國に於てすら、一定の収入を有し、之を増額するに由なきものゝ間に、此の實例を見ること難からず。彼等の精力は、尙多くの金錢を得んが爲めに用ゐられずして、其の現に有するものにより、最大の効果を收めんが爲めに用ゐらる。一日七十五仙乃至一弗を以て、生活を營み得る獨逸家庭の奇蹟は、此の如くにして行はる。其の如何にして行はるゝや知り難し、只だ其の現に行はれつゝあるを知るのみ。

政府の公益擁護政策

獨逸政府は、貧民をして、其の些細なる収入を、出來得る限り多く、自己の爲めに使用せしめんが爲め、適切なる施設を怠らず。課税は往々にして苛重なりと雖も、而も負擔の苦を出來得る限り、輕からしめんが爲め、學理的に安排せらる。少額の財産を所有するもの、若くは少額の収入を所得するものが、富者の逋税を嫉視するが如きは、殆ど稀有の事に屬す。且つ徴收せられたる税金が、如何に使用せらるゝかは、清潔なる道路其他都市事業の成績を以て、納税者の目前に説明せらる。

且つ獨逸政府は、公益事業を營むべき大會社に特權を濫與し、彼等をして擅に公衆を虐けしむる如きことをなさず。都市自ら其の事業を經營せざる場合に於ては、其の撰定したる經營者をして、特許を害用せざらしむるの用意を以て、會社の行爲監督に關する多大の權利を

保留す。伯林の如き、市街鐵道は全く私設にして、瓦斯工場の一部も私有に屬すと雖も、乗車賃は二仙半均一と定められ、瓦斯の代價はシカゴの三分一に出でず。ウエストリア地方の工業市として、中位を占むるツィセルドルフの好適例は、以て都市の官廳が、市民の利福の爲めに、如何に施設しつゝあるかを、説明するに足る。即ち左に列擧する事業は、總て市の經理する所なり。

上水道。瓦斯。電燈。市街電氣鐵道。公園。市場。埠頭。屠畜場。貯蓄銀行。質業。圖書館。浴場。劇場。奏樂場。樂隊。博物館。繪畫陳列場。警察。消防署。授職場。行路救助。貧民宿泊所。職工住宅。疾病保險。慈善會。病院。墓地。美術學校。

見るべし、其の到らざる所なく、及ばざる所なきを。

備主と労働者の關係

獨逸に於ては、英國若くは米國に於けるより

も、賃錢率、甚だ不變にして、高低の兩極端なきのみならず、轉業者も尠く、無職業者も亦尠なし。獨逸職工は、英米職工の如く、容易に其業を轉せず、又其の從業工場を變せず。大概は法律を以て、少くとも二週間前に、解雇若くは退轉を通告すべきものと定めらる。此國に於ける備主と被備者との關係は、自由放任主義の英米兩國に於けるが如くに、勞力賣買の事務ならず。クルツプ氏が被備者の利福を圖るに親切なりし實例は、全國を通じ、到る處小規模を以て模倣せらる。舊時の組合制度は全く廢滅に歸したるも、其の主要觀念の一たる、職工皆其の職業に頼りて以て生活するの權利ありとの觀念は、今尙依然として存續す。資本主義の勢力も、全く此等の舊慣を破壊する能はざりき。備主が常に、職工の爲めに保險金を支出する事實は、兩者の關係が、英米國に於けるよりも、恒久的なるを證明する所以

也。

獨逸官吏の服務は、實に永久任用の最適例なり。青年にして一たび官廳に任用せらるれば、終身の在官、恩給の受領、及び死後に於ける遺族の扶助を期待し得べし。正當の理由なくして免職せらるゝ憂なく、而して昇進の機會は、勳績若くは技倆よりも、寧ろ年功に對して與へらる。勤務時間は短かくして、大概の官廳は午後三時を以て、退出時間と定む。官吏として、獨逸官吏の如く安全なるものなく、而して職工の境遇も之に準ずべきものあり。

工場法規の要點

工場に關する普魯西の立法を觀察すれば、職工階級の境遇を明瞭ならしむるに足る。單に法規のみを比較すれば、普魯西の法規は、英國の如くに周匝且つ保護的ならず、而も普魯西國の法規は一も空文に屬するものなく、必ず實地強制せらるゝが故に、其

の制定に當りて、自ら慎重に調査せらる。されば普魯西の法規は、其の實行を不可能事たらしむる程に嚴密ならざるも、一方に於て事業に對する箝制を、出來得る限り少なくすると共に、一方に於て職工に對する保護を充分ならしむ。特種の事業に關する法規の明文に於てすら、歷々として、面倒無益なる煩瑣の條項を避けたる跡を観るべし。

法律の規定する所によれば、各工場^の規則は、必ず之を揭示するを要し、此の規則には、勤務時間、食時、賃錢拂渡時日及び方法、解雇、處罰及び罰金公示の期間を明記するを要す。規則を制定したる時は、三日以内に、工場検査官の認可を受くるを要し、而して検査官は其の法律に遵據して、何等の違背なきやを嚴密に考査す。規則の實施せらるゝ前、職工は之を批評し若くは意見を提出し得るものとす。

工場に於ては、十三歳未満の小兒を使用するを得ず。十三歳以上十四歳未満のものは、一日六時間以上使用するを得ず。十四歳以上十六歳未満のものは、一日の労働十時間を超ゆることを得ず、而して一日の労働八時間よりも少なからざる場合に於ては、晝時に一時間、午前午後各一回、半時間宛の休憩をなさしむるを要す。一九〇一年の統計によれば、十三歳乃至十四歳の兒童職工数は九千四百五十四にして、其の二割五分は紡織工場に使用せられたり。教育の事を擔任する官吏は、傭主を強制して、十八歳未満の被傭者を補習學校に通學せしむるの権利を有す。女工に對しては夜業を課するを得ず、一日の労働、十一時間を超ゆるを許さず、而して土曜日及び休日の前日には十時間を超ゆるを得ず。家婦たるものは晝時に半時間の特別休憩を請求することを得。分娩したるものは、産後四週間、若くは醫師

の證明なき場合には六週間を経過せざれば、使用することを不得ず。法定の休日は、日曜日、元旦、イースター祭翌日、昇天祭日、聖靈祭翌日、斷食日及びクリスマス二日間なり、加特力教州には更に多くの休日あり。男工に對して、罰金の制裁を附することを得るも、其の金額には限度あり、且つ罰金として收納せられたる金額は、被傭者の爲めに設けられたる疾病救済基金に繰入るゝことを要す。概して、獨逸の工場は、米國の工場よりも、設備良好にして、職工の娛樂に資すること多し。これ兩國の状態を比較考究したる論者の、一般に承認する所なり。獨逸の工場は、光線及び通風良好なるを常とし、且つ清潔にして秩序的なり。衛生上の設備及び洗濯、更衣等の設備は完全なり。多數の工場は、職工の爲めに、専用の戸棚を備付くるを以て、彼等は工場を退出するに當り、自由に著換ゆるの便利を有

す。灌水浴の便宜を興ふるものも尠なからず。獨逸人は労働時間内に於て、午前に一度、及び午後一度間食をなすの習慣あるが故に、多數の工場は、便宜の爲め食堂を設備し、職工の希望により、一碗の咖啡若くは一杯の麥酒を購ひ得せしむ。

獨逸多數工場の平均労働時間は、正味十時間なるも、三回の食事の爲め、一時間半乃至二時間半を費すを以て、工場に於ける一日は、實際よりも稍く長きを感じしむ。信憑すべき學者の計算する所によれば獨逸工場の一日平均労働時間は、英國よりも長く、米國よりも短しと。英國に於ける土曜日の半休は、獨逸職工の享受せざる利益なり。

職工組合の現状

獨逸の職工組合は、英國及び米國の組合の如く、有力且つ堅固ならず。其の一理由は、惟ふに、職工の保險に關する法規整備せるにあるべし。此點に於て、獨逸政府は、他國の職工組合が行

ひつゝある事務に侵入せるなり。而して保險の事務たる、實に職工組合をして、勢力を有せしむる一原因たる也。

賃錢引上げ及び作業改善の目的を以て、互に結合同盟するの權利は、傭丁、農業労働者及び海員を除くの外、總ての傭主及び被傭者に附與せらる。されば同盟罷業及び聯合解雇は、労働問題の爭議に於て、合法の手段と認めらるゝも、他人を誘致し若くは阻止する目的を以て、身體上の壓抑、威嚇、脅迫、凌辱を加ふるものは、三個月の禁錮に處せられ、其の刑法の條文に觸るゝものは、更に長期の處刑を受くるものとす。

政治上の關係は、獨逸の職工組合主義に、大なる勢力を及ぼし、之を横斷して三派に分割せり。其の最も大なるは自由社會的平民同盟にして、一九〇二年に於ける會員の數、六七八、一八一と算せられ、社會

的平民黨の最重要分子なり。自由派の無宗教的面目に對抗するものを、基督教的同盟とす。但し特種の宗派を標榜するものにあらず。其の會員數は、一九〇二年に於て、八四、六六七と算せられたり。兩者共に其の會員は異動甚だしく、其の資産は多からず、其の基本金制度は完備せず、而して多年の間、其の領袖の野心により、社會的平民政黨の附庸機關となりたるを以て、漸次衰退の傾向を示すに至れり。彼等領袖は、政治運動の爲めに、職工の錢囊を絞り、却つて國家的保險に反對したりき。

現時に於ては、形勢漸く一轉せんとし、兩者共に政治的臭味を脱して、英國及び米國の組織に近接しつゝあり。此の結果として、勢力の發展極めて迅速なるが上に、社會的平民同盟と基督教的同盟とは、相互に融合するの傾向あり、若し前者にして、其の公言する社會主義的

形體、特に無宗教的綱領を脱却するに至らば、兩者の合併は必ず勞働團體の利益に資すること大なるべし。

第三の組合即ちヒルシユ、ツンケル組合(Hirsch-Dunker Union)は、英國式に則りて組織せられたるものにして、政治に對して超然たり。此の組合は、資本と勞力との衝突争闘を豫占せる社會的思想を排斥し、兩者間の關係を平和的に調理せんことを期す。會員數は約十萬と算せられ、職工中の最上級に屬す。此の組合の最も頼みとする所は、職工の自助心なり。會員間に於ける失職者保險の如きは政府の未だ實行せざる所にして、而も此の組合の敢て爲す所なり。

職工組合の會費は毎週二仙半乃至七仙にして、ヒルシユ、ツンケル組合に於ては、時として十四仙に上ることあり。

強制保險の制度

政府監督の下に職工保險を強制するの制度を採用

し、好成績を収めたるは、獨逸國を以て嚆矢とす。此の如き社會主義的立法の主要動機は、勞働者間に社會主義の傳播するを抑制せんと欲するにありと傳へらる。而も此の方案は、國家をして、干渉に過ぐとの非難を受くることなく、何事に行はしむる習慣を有する獨逸人の思想と適合するのみならず、政府の使用人即ち官吏に對する恩給制度は、以て模範を提供する所以となり、職工社會の固定的状態は、其の實行を容易ならしむる所以となれり。前段に叙述したる如く、任用の終身的なること、一の職業より他の職業に轉ずるの困難にして稀有なること、職工をして職工以外のものたらしむるを抑止する障礙の重大なるのみならず、其の科目を變ずるをすら阻止ること、獨逸人の性情遲緩にして從順なること——以上の事實を知悉すれば、以て職工保險制度の實行容易なりし所以、及び其の成功したる

所以を了解するに足らむ。

保險制度の結果が、職工をして將來に對する用意の念を薄からしめたりとの説は、貯蓄に關する統計により反證せらる。一八八二年に於ては、貯蓄銀行に預金勘定を有するもの、僅かに毎八人に付一人のみなりしも、一八九七年に於ては四人に付き一人となれり。預金總額は、此の期間に於て三倍の増加をなし、一八九七年の總額一、二五〇、〇〇〇、〇〇〇弗と算せらる。而して此の金額の二割八分は一口十五弗以下、一割六分は十五弗乃至三十三弗、一割五分は三十八弗乃至七十五弗、四分は七百五十弗以上のものに屬す。英國に於ける人口の頭別貯蓄金額は、殆ど獨逸の二分一に當る。

獨逸職工保險制度の由來せる觀念は、強制の繁榮、國家の補助及び傭主の義務にあり。凡そ職工たるものは、法律によりて、保險に加入せ

ざるを得ず、而して國家は其の經費に充つるが爲めに、公金を支出し、傭主は保險の組織を創立し、且つ維持するが爲めに大部分の責任を負ふものとする。

疾病保險の概要

政府が最初に開設したるは疾病保險にして、之に關する法律は一八八三年を以て通過したり。此の保險は製造業、商業及び一般職業に對して強制せられ、且つ地方官廳は、此他の人民にも之を推及するの權能を附與せられたり。

保險事業に要する經費は、半は政府の管理に屬し、半は地方傭主組合の管理に屬する基金中より仕拂はる。保險掛金の平均額は、被保險者賃錢の一分五厘乃至三分にして、其の三分二は職工より拂込み、三分一は傭主より拂込むものとする。被保險者の數は九百万乃至一千万にして、一九〇〇年に於て、基金よりの支拂高總計四二、〇〇〇、〇〇〇

〇弗に達し、給與を受けたる人員四百萬と算せられたり。一人に對する給與は、藥價及び看護料の免除、及び少くとも通常賃錢の半額の支拂、若くは病院に於ける施療及び家族に對する半額の支拂なりとす。給與の最長期は十三週間と定めらる。

負傷保險の概要

負傷保險の制を定むべき法律は、一八八四年に施行せられたり。此の法律は、一地方に於ける總ての傭主を強制して、

當該産業に實際に従事する人々を以て組織せる協會に加入せしむ。此の協會は法人たる權能を有する自治體なり。基金は會員の醵金を以て準備せられ、其の金額は賃錢支拂總額に比例して割當てらる。

救助金の給與は、負傷の時より十三週間を経過したる後に始まる、此の十三週間は疾病保險基金より給與せらるゝが故なり。一人に對する給與は、治療費の免除、及び負傷窮乏の程度に應じ、通常賃錢の三

分二以内を限度とする支拂なりとす。負傷の結果、遂に死亡したる場合に於ては、十二弗より少なからざる葬儀費、及び本人の所得賃錢の二割乃至六割に相當する遺族扶助料を給與せらる。此の保險は職工に對して、何等の徴收をなさず、總て傭主の負擔とす。一九〇一年に於ける被保險職工の數は、六、八八四、〇七六にして、給與人員三八四、五六六、金額總計二六、〇八四、八六五弗に達したり。

殘疾老衰保險の概要

殘疾老衰に對する保險は、年額四八七弗以下の賃錢を受くる十六歳以上のものに對して、一般に強制せらる、但し官吏に對しては他の方法設けらるゝを以て、之を適用せず。四八七弗以上七三〇弗以内の賃錢を受くるものは、任意保險に加入することを得。此の制度は一八八九年の法律によりて設けらる。即ち職工保險に關する諸法律中、最後に制定せられたるもの也。

被保險者は、其の所得に應じて、五種に區分せらる。其の區分、及び殘疾若くは老衰の場合に受取るべき恩給金額左の如し。

所得金額	每週掛金	老年者	給與金額	殘疾者
(一) 八十五弗以内	三仙 _七	二七 _弗	二七 _弗	
(二) 八五—一三四	五	三四	二九	
(三) 一三四—二〇七	六	四一	三三	
(四) 二〇七—二八〇	七 _七	四九	三四	
(五) 二八〇—七三〇	九	五六	三六	

每週の掛金は、金額相當の印紙を貼附したる通帳を以て、傭主より拂込まる。此の印紙は傭主の買入るゝ所にして、而して傭主は、職工の賃錢より、印紙代の半額を差引くことを得。被保險者每一人に對して、國庫より基金として十二弗宛を交附す。

残疾者として給與の恩典に浴するは、二。十。六。週。間。に亘りて、糊口の資を稼ぐこと能はざる被保険者に限り、且つ給與を請求する當時までに、一。百。週。間。乃至五。百。週。間、保険に加入したるものなることを要す。兵役に服務しつゝあるもの、若くは疾病の爲め勞作に従事する能はざるものは、掛金の拂込を免除せられ、而も此の時日は被保険期間中に加算せらる。残疾保険に關して重要な點は、疾病の爲め、糊口の資を稼ぐ能はざる被保険者に對して、別に規程を設けたるにあり。以上の如き場合に於て、保険官吏は其の職權により、當人をして病院若くは施療院の診療を受けしむ。若し又當人現に疾病保険金の給與を受けつゝあれば、給與の責任は、疾病保険より、残疾保険に移さる。但し残疾保険基金よりの支出金額は、疾病保険基金より拂戻さるゝものとす。

老。年。恩。給。金。は。七。十。歳。以。後。に。至。り。て。給。與。せ。ら。る。此の給與を受くべきは、少くとも千二百週間保険に加入したるものならざるべからず。一八九一—一九〇一年間に於て、給與の請求を認許せられたる數は、残疾者七三四、二五一人（一九〇〇年に於ける毎一人平均金額三五弗五〇仙）、老年者二八九、九七一人（一九〇〇年に於ける毎一人平均金額三六弗四六仙）なり。

各種保険の効果

職工保険の全般に亘りて、一九〇二年の概要を表

記すれば左の如し。

職工保険成績一覽表

被保險人員	六、七三六、〇〇〇人
給與支拂金額	一〇五、六〇三、〇〇〇 _円
政府支出金額	一〇、〇七三、〇〇〇

傭主支出金額

五一、〇六八、〇〇〇

職工支出金額

四四、二八五、一五〇

以上○の如く、職工は其の拂込みたる掛金以外、更に六一、三二七、〇〇〇
 ○弗の恩恵を給與せられたる也。而も各種の保険制度は、啻に職工
 自身○の爲めのみならず、彼等が勞作に從事する能はざる場合若くは
 死亡○の場合に於て、家族の爲めにも、憂慮困憊の重荷を除去するが故
 に、其の人民の利益及び幸福を増進したる恩恵の程度は、金錢を以て
 購ひ得る所よりも遙かに大なるべし。

以上、保険に關する統計は、大概「タイムズ」寄書家の論文（一九〇三
 年）より引用したるものにして、同論文の一節に云へるあり、

『勞働の實力に關して、保険制度は實に極めて顯著にして且つ豫期
 すべからざる結果を生じたり。保険官吏及び團體は、引受くべき

慢性患者の數、甚だ多く且つ益々増加すべきを慮り、盛に豫防手段
 を講じたり。即ち保険團體が設立したる施療院は、七八十の多き
 に上り、病室の總數は七千と算せらる。肺病患者のみの成績によ
 るも、其の六割七分三厘は全く快愈して職業に復し、七分は他の職
 業に全然従事することを得るものとなり、一割六分四厘は同じく
 半ば従業すること得るものとなり、僅かに一割一分のみは、勞作を
 以て生活を營む能はざるものとなれり。』

職工住宅問題

職工の住宅問題は、最近數年間、獨逸に於ける社會
 的大問題の一にして、之に關する議論文章の、刊行せられたるもの頗
 る多し。大都會及び工業都市の、著大急激なる發達は、住居に關し
 て、遙かに供給を超過する需要を喚起し、遂に多くは麤集に過ぐるの
 状態を呈するに至れり。獨逸の工業都市に於ける、職工の宿泊は、平

均一室二人以上にして、其の室賃は、英國に於ける同一の場合と比較して甚だ高價なり、英國の職工に對する室賃は平均、獨逸の半額に達せず。獨逸に於ける借料は、造作なき一室に對し、平均一週間四十仙乃至六十仙なり。アシュレー氏の計算したる所によれば、獨逸の各都會に於て、職工が室賃として拂ふべき金額を、其の所得に比すれば、左の如き割合となる。

獨逸職工住居料比例表

一箇年收入賃錢	收入に對する室賃の割合			
	伯 林	漢 堡	ドレスラウ	ライプチヒ
一五〇弗以下	百分ノ 四一・六	百分ノ 二六・五	百分ノ 二八・七	百分ノ 二九・九
一五〇—三〇〇	二四・七	二三・五	二一・〇	二二・二
三〇〇—四五〇	二二・八	一八・九	二〇・八	一九・九

住居問題の困難を輕減せんが爲め、種々の方法は施行せられたり。

ライン、ウエストアリア地方の傭主が、職工の住宅を建築するが爲め、及び自ら建築する職工を補助するが爲め費したる所、既に五二、〇〇〇、〇〇〇弗の巨額に達す。此他都市の官廳は、職工の爲めに建築し、又建築費用に供する爲め、低利を以て資金を貸與したり。普魯西に於ては、或種の官吏、特に下級鐵道職員の爲めに、政府より住宅を給與す。一九〇一年までに、普魯西政府の建築したる家屋數四七三にして、戸數二二三二、室數七〇〇九、費用總額二、一九五、五六九弗なり。

第八章 結論

人口増加の問題——解決の一方法として海外移住——解決の一方法として貿易擴張——工業國の遭逢する危険——獨逸將來の繁榮如何——將來の繁榮と人民の性格——他國民の學ぶべき長所其一——他國民の學ぶべき長所其二

人口増加の問題 獨逸帝國の頭上に懸れる刻下の最大案件は、迅速に増加する人口を如何に處分せんかの問題にあり。或は獨逸の對外政策を批難して、領土の擴張に渴するものとなし、侵畧の野心に驅ら

るゝものとなすありと雖も、此の政策たる實に、周圍の事情より盼附せられたるものに外ならず。仔細に事實を考究すれば、自ら穩當なる制斷を下し得べき也。

獨逸の人口は、既に五千八百万を超え、年々百分一以上の率を以て増加しつゝあり。ルロア、ポリュー氏の計算する所によれば、獨逸の人口は、今後百年内に二億に達すべしと、シユモラー教授も此の計算に同意せり。されば廿五年前以來、獨逸國內の穀類産出額は、以て其の消費額を充たすに足らず、現時に於ても、千五百万噸の産出に對し、二千萬噸を消費するが故に、其の不足額五百萬噸（約二億アツシエール）は、之を外國より輸入せざるべからず。而して將來に於ては、産出が幾何の程度まで増加するとしても、消費の増加に應じ能ふを期すべからざること、固より論なし、況んや現時の不足を填補するに於

てをや。

露西亞は東方に膨脹することを得べく、米國は西方に、佛蘭西は阿弗利加に於て南方に膨脹することを得べく、英國は其の過剩人口を殖民地に排出することを得べし。然るに獨逸は、孰れの方角にも、其の領土を接續して擴張する能はず、其の阿弗利加に於ける殖民地は、移住者を誘致するに足らず、一九〇三年に於て、阿弗利加全土に移住したるもの、僅かに二百二十六人のみなりき。亞細亞大陸に於ても、獨逸人を迎ふるの地なく、南米は合衆國の嚴守する所たり。

解決の一方法として海外移住

若し母國にして、其の人民の忠心を維かんとせば、必ず國內に於て彼等を扶持する乎、若くは新領土に對して權力を及ぼす乎、二者其一に出でざるべからず。從來の經驗に徴するに、其の本國を離れて海外に移住したる六百万乃至七百万の獨逸

人は、二代目を過ぐれば、全く獨逸人たるを失ひ、且つ獨逸製品の使用者たるを忘るゝに至る。されば此等の移民は、獨逸帝國をして、彼等に對する教育の費用及び彼等が携帯する資本金額を損失せしめたる也。シユモラー教授は、移民が此の如くにして帝國に價ひしたる總額を算定して、一九〇〇年までに十五億弗乃至二十億弗に達すと云へり。されば過去に於けるが如き状態を以てしては、人口問題の満足なる解決を、海外移住に求むること能はず。

解決の一方法として貿易擴張

若し此の如く繁殖する人口を、全く國內に於て養はんとなせば、之を爲すの方法は、只だ外國貿易を擴張するの一あるのみ。食糧及び原料品輸入の代價は、製品輸出の代價を以て支拂はざるべからず、而して輸出の爲めに市場を求めざるべからず。輸入代價の一部分は、海外放資金に對する利子及び航運業を營める

獨逸船舶の収益を以て支拂はるべしと雖も、海外放資金なるものは、往々にして、國內工業と正面の競争をなすべき、外國事業の創設を助け、斯くて輸出市場を狭むべきを以て、結局、貿易の利益たるや頗る疑ふべし。

獨逸人が所有する、外國株券及び債券の總價額は三十億弗以上と計算せらる。此外、一八九七年及び一八九八年の領事報告に徴すれば、外國商工業に放下せられたる金額約二十億弗なるべし。兩者を合計すれば、外國放資金額總計五十億弗以上にして、其の利子年額二億五千萬弗乃至二億七千萬弗なり。而して船舶の收益年額六千萬弗内外なるが故に、獨逸は輸出貿易以外に、毎年三億弗乃至三億五千萬弗を海外より吸收す。

工業國の遭逢する危険

獨逸が外國貿易に頼りて存立し、工業國とし

て發展するに當りては、二種の危険に遭逢せざるを得ず。第一は輸入貿易に對する危険にして、第二は輸出貿易に對する危険なり。輸入貿易に關しては、對手たる供給國が、原料品及び食糧を送るを拒むことあるべく、或は輸出税を課して貿易を阻害することあるべく、或は戦争の渦中に投入することあるべく、或は其の人口大に増加し、製品的全額を國內に於て消費するに至ることあるべし。又輸出貿易に關しては、現在に於て、製品の好市場たる國が、將來自ら製造するに至るべきの危険あり、或は其の製造業を奨勵し、外國品に高率の輸入税を課することあるべく、而して他の工業國との競争は常に避くべからざる所にして、愈々益々激烈を加ふべきの危険あり。商業上の競争は、常に紛議の原因にして、此の紛議は、往々にして戦争に歸著す。

歐洲諸國と米國との、過去に於ける商業關係は、此の危険を事實に現示したり。南北戦争の爲め、南米諸港よりの棉花輸出、全く杜絶したるが爲め、英國の紡織業が、大困厄を嘗めたるが如き、マツキンレー關税法の通過によりて、各種の製造業が打撃を受けたるが如き、所謂『米國の侵畧』即ち米國が製品に對する需要を、全く自國の製造業により供給し得るのみならず、更に一轉して、世界の市場に於ける、激烈の競争者たるの時來らんことを豫想せしむる危険の如き、以て其の例證とするに足らむ。

露西亞も亦、獨逸が頼つて以て、輸入食糧品を仰ぐの原地にして、且つ其の製品に對する市場なり。然りと雖も、現時露西亞が供給する食物は、同國に於ける産出額の過剩にあらずして、寧ろ露西亞國民自身の消費不足額たるに過ぎず。されば若し露西亞にして、現時の混

亂渦中より脱出し、而して産業の進歩に利すべき政治上の變革行はるゝあらば、獨逸は此の方面に於て、食糧及び原料品供給の一原地を失ひ、之と共に製品需要の一市場を失ふに至るべし。

東洋の方面よりも、競争の來るべき危険あり。印度は既に、其の紡織業の發達を開始し、獨逸が曾つて勞錢の低廉を以て、英國及び米國に對抗し得たるが如く、同一の利益を以て、獨逸に對抗せんとす。若し夫れ、日本及び支那の競争より來るべき危険の程度に至りては、之を算定すること甚だ困難なり。極東に於ける、時局の推移は甚だ迅速にして、其の如何なる結果を齎らし來るべきかは、只だ僅かに之を臆測し得べきのみ、即ち之を臆測し得るのみに過ぎずと雖も、將來の事實たり憂患たるに於て増減なきなり。

獨逸將來の繁榮如何

近時獨逸は、世界の市場に他國と競争して、優

に其の領域を守るに餘りあることを示したるも、將來果して、少くとも同一の程度に、此の盛運を持続し得べきやに至りては、何等の保證たるべきものを有せず。英國は今や全く、多年の商業繁榮によりて馴致せられ、因つて以て獨逸をして、不知不識の間に、多くの市場を奪取せしめたる惰眠より醒覺したり。而して獨逸は、何時までも、其の繁榮を齎らしたる卓越の制度を專有し得べきにあらず。其の専門學校及び大學には、多數外國人の來り學ぶあり、彼等は獨逸に於て受け得べき最良の教育を著飾りて歸國する也。今や或る一國が、人為的長所を以て、永く其の競争者に誇り得るの時代は既に過ぎ去れり、各國相競ふて、他國の制度若くは方式の、良好なるものを採用して、自己の用とするに勉むること、益々機敏を加へつゝある也。更に又、獨逸の外國貿易を脅やかさんとする危険は、近時各國に行は

一。排他。自足の政策なり。十九世紀年間に於て、一般に流行したる自由貿易の思想は、工業國の爲めに、商業によりて富を増し勢力を擴張すべき絶好の機會を與へたり。今や大勢は反對の方向に進み、各國相競ふて、國內の製造業を育成し、關稅の牆壁を以て之を保護し以て産業的獨立を圖るに勉めつゝあり。英國の如きすらも、自由貿易の靈驗を疑ひ、其の大帝國の貿易を英人の手に守持する方法を考究するに至れり。

此等の事實は、獨逸人をして、大勢の發展したる後、世界の市場に於ける獨逸の地位、果して如何を考究せざる能はざらしむ。領有殖民地の貿易は、今尙ほ甚だ微々たり。されば獨逸が、全く自己の掌中に握り、他の手によりて鎖されざるべき市場を四方に求めんとするや、自然の結果のみ。

若し獨逸にして、外國貿易により、其の人民を國內に扶持する能はざるあらば、撰ふべき途は唯一、海外移住あるのみ。而も帝國にして、其の人民が移住すべき領土に對し、統治權を擴張する能はずんば、其の人民は遂に本國の臣民たるを失ふべし。百年後の獨逸人口を二億と推算したるルロア、ポリユー氏は、殖民地をも併せたる英語國民の數を、九億と推算し、露西亞國民の數を二億と推算したり、此の數字は、獨逸が其の自然に増加する人口の總數を、本國臣民として、漏らす所なく、包持し得たりとするも、尙ほ一等國たる地位を推持するに當り、遭逢すべき困難を指點する所以也。

此の如く觀察し來れば、何人と雖も、獨逸の執るべき政策に就き一致せざるを得ず、政策とは他なし、外國貿易の利益及び殖民領地を保護するが爲め、海軍を擴張するに在り。獨逸外國貿易額の七割は、海路

によりて營まれ、卓越なる陸軍も以て、何等の保護を及ぼす能はず。一九〇〇年に決定せられたる海軍擴張案は、其の完成に要する經費を、二五七、〇〇〇、〇〇〇弗と計上したり。

獨逸人の觀察點より、獨逸の重要問題を觀察し來れば、近年に於ける海軍の擴張は、必ずしも、獨逸が侵畧的政策を懷抱し、若くは英國と海上權力を争はんと企圖を有するの意にあらざることを看取するに苦しまざるべし。獨逸人は由來侵畧的人民にあらず、只だ獨逸人の中には、頭腦甚だ明晰なる幾多の識者ありて、能く未來を洞察し、國民の逢著すべき問題を豫知する也。彼等は敢て此の問題を迴避せず、又人口の増加を樂觀す。彼等は、皇帝が曾つて「獨逸人は地の鹽なり」と喝破したるが如く、獨逸國なるものは、世界に於て一の天職を有すと信ずる也。

將來の繁榮と人民の性格

獨逸人は、米國人、英國人若くは佛國人よりも自尊排他の敵愾心尠なし。獨逸人が自己に對して、最も冷酷なる

批評家たる事、及び常に外國來のもの、眞價を認知するに吝ならざる事は、屢々聞く所なり。彼等をして、容易に他國の工業に關する最良の工夫を採擇し、模倣し、改造するを得せしむるは、實に此の性格にして、外國語の習得が極めて尊重せられ、極めて熱心に行はるも亦たこれが爲めなり。勿論、此の如き自慢自尊心の欠乏は、獨逸帝國の統合が、只だ一種の夢想たるに過ぎざりし時代、及び産業に於ても政治に於ても、獨逸人をして自ら誇るに足らしむるものなかりし時代の影響に外ならず。而して近時の活動成功が、此點に關して、如何の結果を生ずべきやは、之を今後に徴すべきのみ。

獨逸の將來に對する最良の希望は、繫がつて其の人民の性質に在り。

彼等は一團の國民として、重要問題を迎接し、徹頭徹尾之を了解する能力を有す、彼等は又、最も直經且つ合理の方法を以て、問題の解決に歩を進め、而も尙ほ左右に附帶する要件に注意することを忘れざる能力を有す。これ全く獨逸人の心性が科學的に鑄造せられ、移ること遅く、事實を尊び、眞面目にして、透徹なるに基因す。獨逸の國民的心性は、些細の原因によりて、容動に左轉右動せず、國家統合の思念の如きも、其の事實となりて現はるゝまでには、多くの年月を要し、而して獨逸特有の遲緩透徹なる方法を以て完成せられたり。之と同じく現今の産業的繁榮も、單に一時の現象にあらずして、最も堅固なる基礎の上に築造せられ、而して其の基礎たるや、列國の注意を喚起する以前より、多年の間準備せられつゝありし也。此故に獨逸現今の産業的狀態は、永續すべく且つ益々好運なるべきを知る。

他國民の學ぶべき長所其一

獨逸の特長として、他國の學ぶべき所は、

治者被治者共に、法律を尊重することなり。獨逸の法律は、必ず其の實行を期するが故に、他國の法律よりも、一層學理的に編成せらる。獨逸の議會に於ては、法律の制定を要すべき事項發議せらるれば、先づ起草委員會を撰定し、而して此の委員會は、學識上最も適任なる人を以て組織せらる。且つ獨逸の選舉法は、候補者必ずしも其の選舉區の住民たることを要せざるが故に、議會に多數の能才を集むるの利益を有す。

獨逸の學者は、他國に於けるよりも、政府に對して更に密接の關係を有す。大學の教授は、教授たると同時に政府の官員を兼ね、其の專放範圍に屬する事件に關し、常に政府の用をなしつゝあり。例せば

エルンスト、フォン、ハルン博士の如きは、伯林大學の教授たると同

時に、經濟上獨逸の對外關係に關する特殊研究を積めるが故を以て、海軍省の官吏たり。此の如くして獨逸國は、ハルレ教授が習得し、旅行し、研鑽したる結果を、最も實際的に利用するを得るなり。此他伯林大學の教授は、屢々帝國議會若くは普魯西議會の議員として、一方に於て大學の椅子を占めつゝ、立法者たる責務を遂行し得るなり。

他國民の學ぶべき長所其二

學術と實際との間に、密接の關係存在す

ることは、獨逸をして現時繁榮の域に達せしめたる、根本的最重要原因の一たるべし。獨逸大學教授は、單に政府の官吏たるのみならず、其の專攻に屬する問題に關して、屢々各省の諮詢に應じ意見及び助力を提供す。アドルフ、ワグネル教授の如き人が、租税及び財政に關する法案の起草に手を下すとせば、其の法律が、本職政治家の立案したる所と、大に趣を異にし、劃然たる學理的性質を帶ぶべきや、固よ

り言を俟たず。

工業界に行はる所も、亦之に同じ。製造工場及び實地試験所の技術を擔任するものは、工藝學校の教育を受け、學理と最新の研究を、能く實際に應用す。最新の學術的發明を實地利用するの制度は完備せり。化學工業に従事する大會社の多數は、其の専用實驗室及び専任科學者を有するの外、更に大學教授に高給を拂ひて、顧問を囑託し、

學術上彼等の發明を利用するの約束を結びつゝあり。

實業發達の由來此の如く秩序的にして、其の基礎極めて鞏固なる獨逸は、所謂「米國の侵畧」を恐れざる也。「米國の侵畧」なる語は、近時、獨逸國民をも驚かし、多くの人々をして、米國工業の膨脹は、獨逸の外國貿易を撲滅するのみならず、國內市場をも侵畧することあるべしとの憂慮を懷かしめたるも、眞に兩國の能力を學理的に比較研

究したる識者は、皆其の杞憂に過ぎざることを論斷せり。ゴールドベ
ルゲル氏曰く

『米國の實務的に組織せられたる工場、其の各般製造業に於て特種機械の盛なる使用、其の發明の才能等は、今後尙ほ彼國をして、或る方面の産業に於て、獨逸の先頭に立つを得せしむべし。而も米國の爲せし所、獨逸は能く之に倣ふべく、新式にして良好に經營せらるゝ工場に於ては、既に能く之に倣ひ得たり。然りと雖も、我等獨逸人たるものは、尙ほ間斷なく、其の兩眼を張りて、危険の所在を認知し、敵手の長所何處に在るかを考察し、之に倣ふことを忘るべからず怠るべからず。』

英國の産業的進歩は、總ての方面に於て停止したり。米國は飛躍の勢を以て先頭に突進したり。獨逸の進歩は遲緩なりと雖も確實なり、若し其の割合を以て互に比較すれば、恐らくは米國の進歩に匹敵し得べき也。』

明治四十一年十一月十五日印刷
明治四十一年十一月二十日發行

實業振興策與附

定價金壹圓參拾錢

譯述者 平田久

東京市京橋區日吉町四番地

渡邊爲藏

東京市京橋區日吉町四番地

齋藤剛

東京市京橋區日吉町四番地

民友社

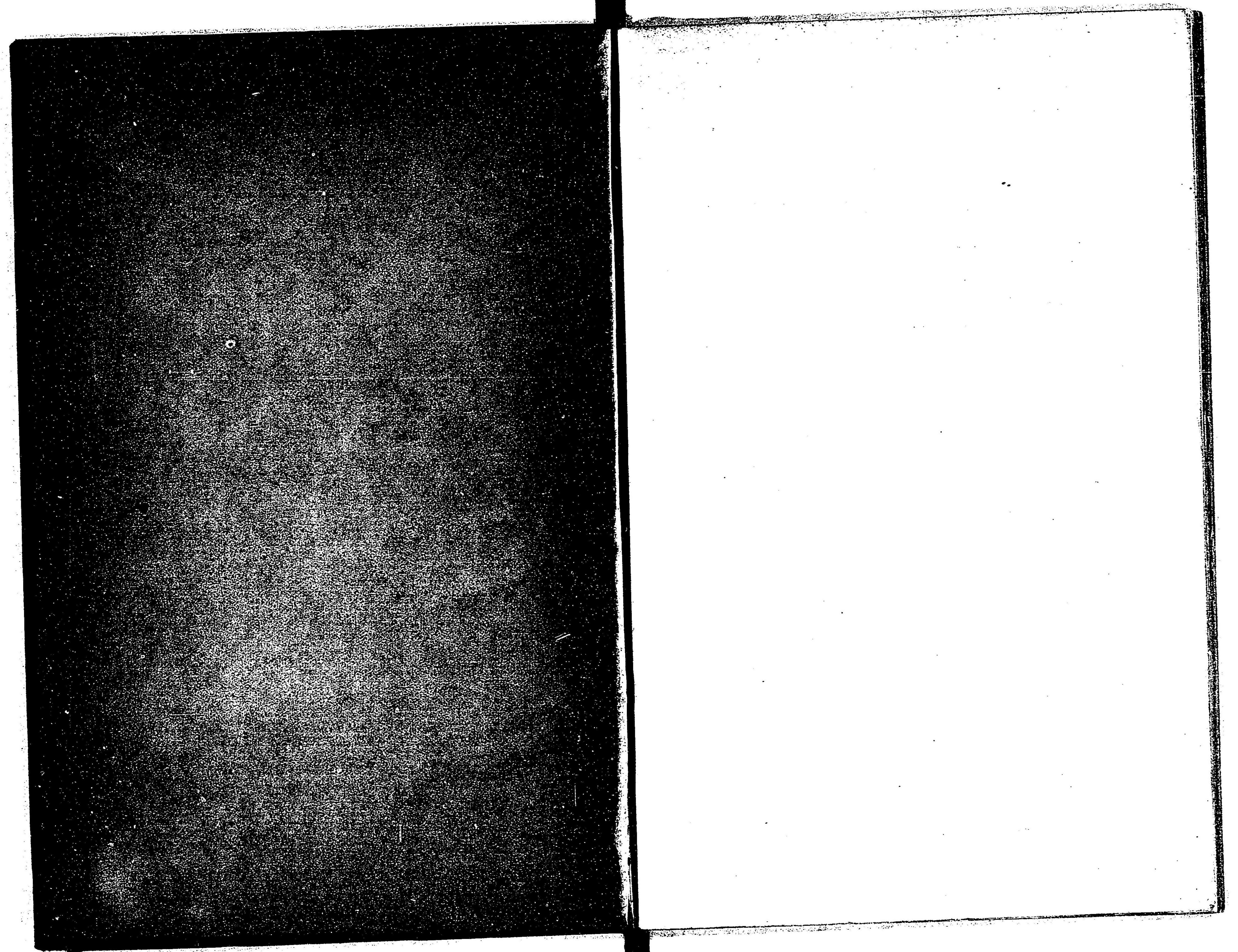
東京市京橋區日吉町四番地

民友社

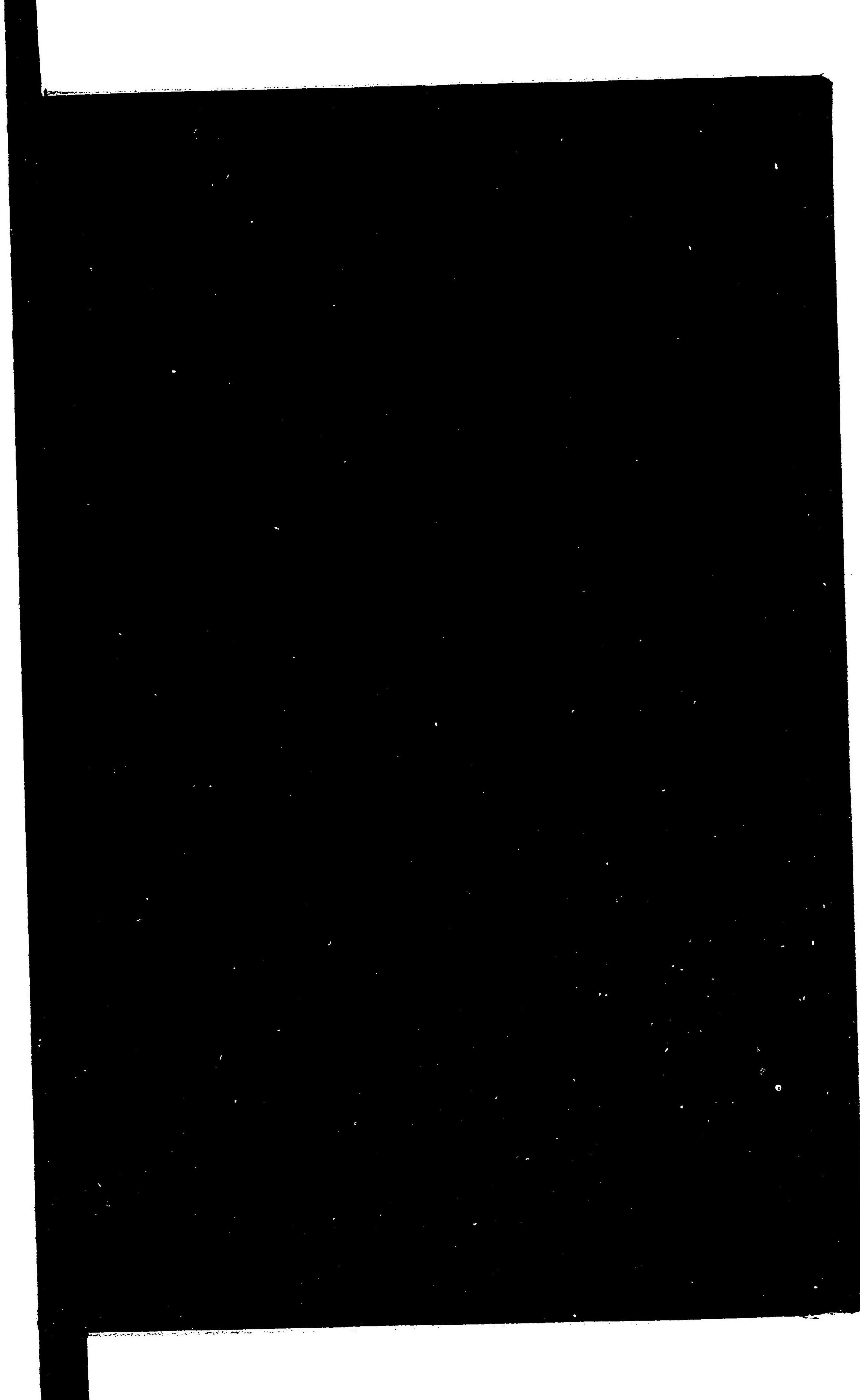


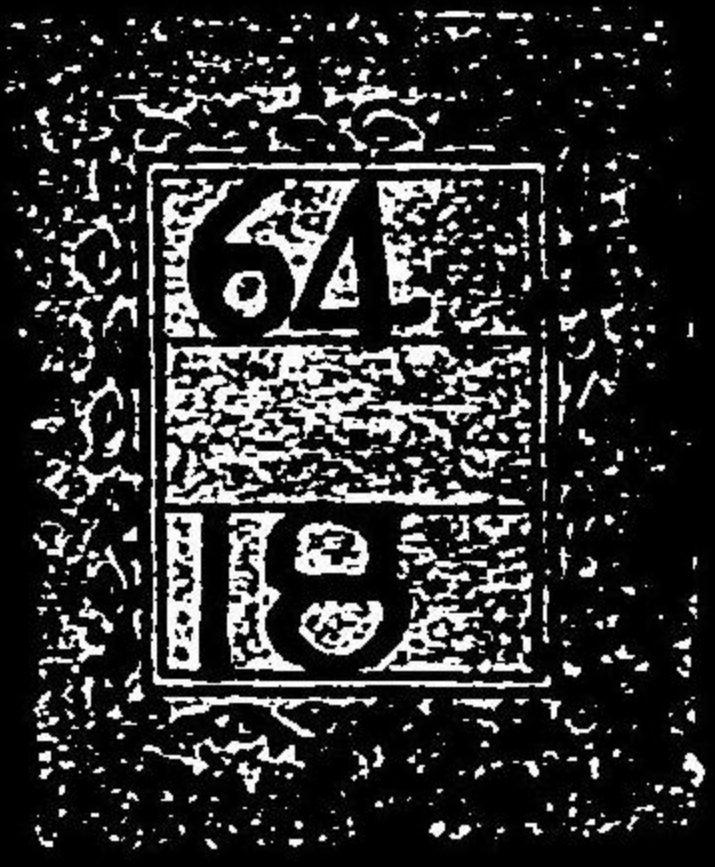
不許
複製

發行所 民友社



79
81





041863-000-0

64-18

実業振興策 (独逸実験)

アール・ヂーンホワード/著

M41

BDI-0499



